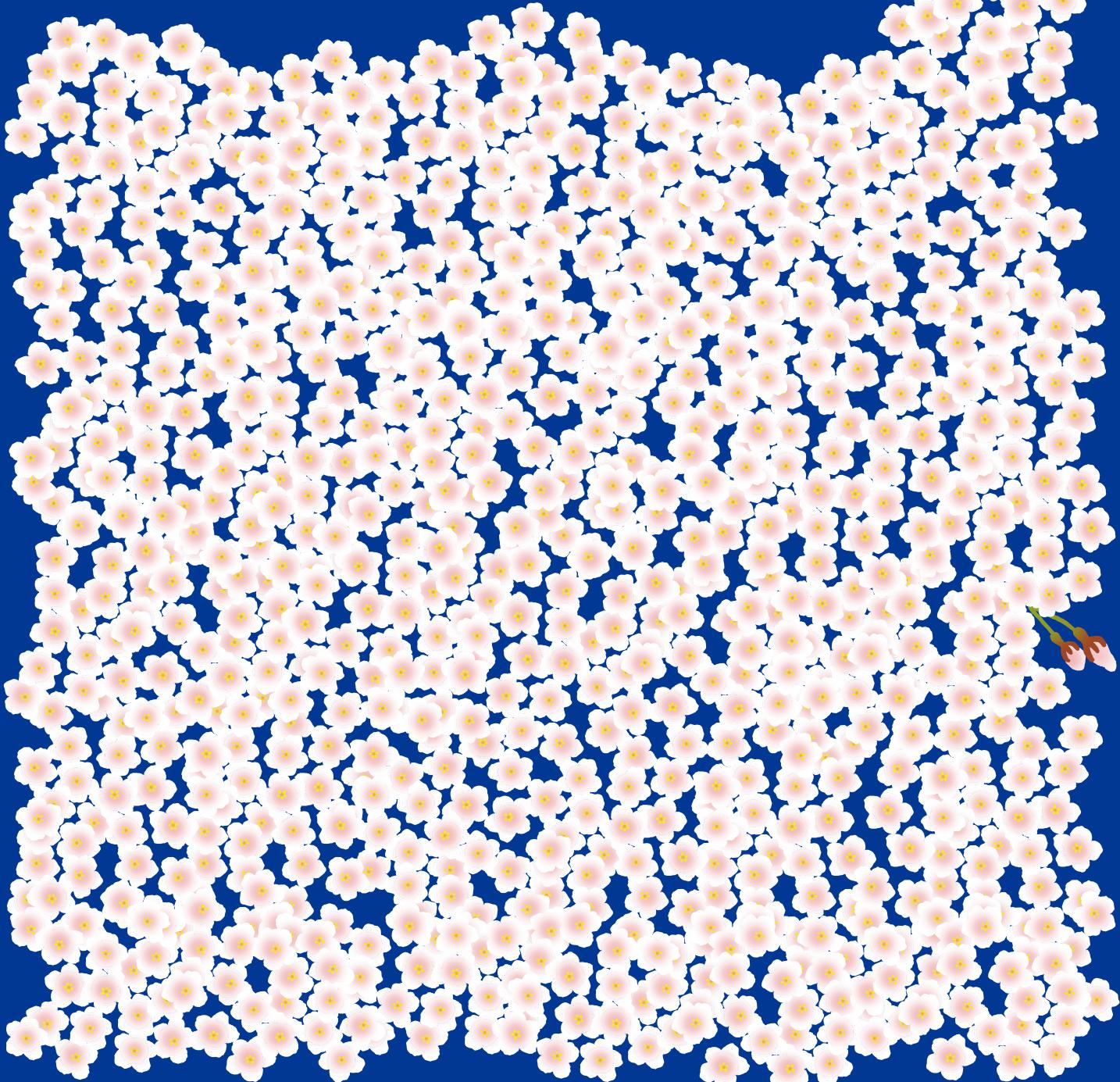


令和4年度
国立大学法人 弘前大学概要
2022 HIROSAKI UNIVERSITY



CONTENTS

- 02** 学長メッセージ
- 03** 理念・基本方針
- 05** 歴代学長・沿革
- 07** 組織
- 08** 事務機構
- 09** 教育研究院
- 10** 学部・大学院
- 15** 医学部附属病院
- 17** 附属図書館
- 18** 附置研究所
- 19** 学内共同教育研究施設・本部
- 20** 本部
- 21** 機構
- 25** 特定プロジェクト教育研究センター
- 【データ編】
- 26** ロゴマーク
- 27** 役職員等
- 28** 教職員数
- 29** 入学志願者数
- 30** 学部学生数
- 31** 大学院学生数
- 32** 卒業・修了者数／学位授与者数
- 33** 進路・就職状況
- 34** 外国人留学生数
- 35** 国際交流
- 37** 国内機関との連携協定等
- 39** 財務状況
- 41** キャンパス
- 45** 土地・建物
- 46** サテライト
- 47** 部局等所在地
- 48** アクセス

学長メッセージ



世界に発信し、
地域と共に創造する

国立大学法人弘前大学長 福田真作

弘前大学は、旧制弘前高等学校、青森師範学校や青森医学専門学校などが母体となって昭和24(1949)年に新制大学として創立され、70年を超える歴史を刻んでまいりました。国立の総合大学としては、名称に県名を冠しない大学の一つであり、また県庁所在地ではない都市名を冠する唯一の国立総合大学もあります。これには戦争末期の青森(市)空襲という悲劇が深く関わっています。全焼した青森師範学校と青森医学専門学校の存続を願う関係者のご努力によって、空襲の被害を免れた弘前市への移転が実現し、新制弘前大学が誕生しました。このような歴史的な背景もあって、キャンパス内には本学誕生に関連する記念碑等が多数整備されており、夏の「弘前大学市民day」、秋の「総合文化祭」には一部の学内施設を含めて市民の皆さんにキャンパスを解放し、地域との絆を深めています。

弘前大学は、このように地域と共にある地方大学ですが、本学で育成される人材や地域の課題解決に向けた教育研究によって得られた成果は、決して地域限定というものではなく世界に通用するものであります。「世界に発信し、地域と共に創造する」というスローガンに本学の担うべき使命が謳われており、その使命を果たすべく教育研究、人材育成および社会貢献に資する改革を常に進めています。これからも全ての教職員が一体となって、地域と共に成長し続ける弘前大学を目指していきます。

弘前市は、歴史と伝統があり、文化の薫り高い街であり、本学を含めて5つの大学を擁する学園都市であります。また、レトロな建物、オシャレなお店や美味しいお店など、魅力的なスポットが多く、四季折々を彩る全国的なイベントが開催されます。縁があって本学に入学した学生さんが、この恵まれた環境下で自らを育み、やがて未来に向かって大きく羽ばたく社会人となることを強く願っています。



Ⅰ 理念・基本方針

理 念

弘前大学は、教育基本法の精神にのっとり、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、人類文化に貢献しうる教養識見を備えた人格者の育成をもって目的とする。

基本方針・弘前大学将来ビジョン

「世界に発信し、地域と共に創造する」をスローガンに掲げる弘前大学は、地域の「強み」でもある再生可能エネルギー、環境、被ばく医療及び食の4テーマを大学としての重点分野に位置付け、教育研究と地域連携を推進してきた。第3期中期目標期間にあっては、地域の特性に着目した研究成果に基づいたイノベーションの創出が実現したほか、教育研究、国際化及び管理運営面においても確実な成果を挙げることができた。第4期中期目標期間においても、地域のニーズや国の政策を的確に踏まえつつ、これまで積み重ねてきた本学の「強み」に更なる価値を創造することで、より一層地域の活性化に寄与し、地域社会全体の持続的発展を牽引することを基本方針とする。

新型コロナウイルス感染症を契機に起きた大きな社会変動を受け、地方創生の中核として、本学の特色ある世界水準の研究力を基盤とした社会変革・地域創生を先導するイノベーションの創出と人材育成及び研究開発を推進する。

また、地域の「知」の拠点である本学の更なる発展を目指して、「特色ある地方国立大学」への転換を加速させる。そのために必要な教育・研究組織の再編・機能強化、少子化に向けた入試改革、学修者本位の教育改革及びポストコロナ時代の新たな国際化を推進する。

さらに、少子高齢化が進む地域の医療過疎の問題は我が國の地方創生を妨げる重要な課題でもあることから、高齢化が顕著な青森県において地域医療を担う本学が主体となって、各自治体と連携し、地方創生の基盤となる持続可能な新たな地域医療提供体制の構築を目指す。

以上の取組を実現するため、中長期的視点に立ち、学長のリーダーシップの下で、これまでの固定観念にとらわれない大胆かつ戦略的な経営・運営の改革を実行する。



教育改革

Society5.0で実現する社会では、共感力や対話力、創造力がより重要視される。そうした基礎力に加え、文理横断的な知を備えた、国際社会の変革や地域創生に臨機に対応できる人材の育成を目指し、教育改革を推進する。

学修者本位の教育の原点に基づき、教学IRの積極的活用、数理・データサイエンス教育の全学導入などを進め、FDの充実と学生の学修成果の可視化を図るほか、学生への各種支援をより一層強化する。

また、入試結果に基づいた入学者選抜方法などを検証するとともに入試広報の充実によって、多様な人材の確保に努める。

研究推進

国際的レベルの研究、新領域を開拓する基礎的研究、地域を守り、育てる研究を推進する。その中で、若手・女性研究者の支援、競争的研究資金の獲得、知的財産の創出と活用、国際共同研究の促進や人材育成の視点に基づき研究力を強化していく。

また、研究分野としては、環境・エネルギー・放射線、食・自然、健康寿命延伸、地域力向上、文化資源の活用を本学の重要なテーマと位置付け、研究の推進を図る。

大学の国際化

国際化は、高等教育機関である大学にとって不可欠な要素である。「攻めの農林水産業」を展開する青森県においても、農林水産品の輸出拡大を図っていく上でグローバルな視点を備える人材を求めており、地域と共に歩む本学においてもそのような人材の育成は重要な課題である。

本学や海外協定校への双方向の留学等(国際交流)に加え、オンラインを活用した国際的な教育研究の連携と環境整備を行い、ポストコロナ時代に対応した国際化の質的変換を図るとともに、地域と連動した取組を推進する。

地域連携・地域貢献

地域課題の解決や社会実装に役立つ教育や研究を通じて、地域を牽引する人材を育成し、地域定着を推進するとともに、イノベーション創出に取り組む。

「地域を支え、地域から支えられる大学」として、これまで培ってきた大学、自治体、産業界等との連携基盤をより一層強固なものとし、地域貢献を推進していくために、本学が先導し中核的な役割を果たすことにより、地域の活性化や地方創生を実現していく。

管理運営

教育・研究・地域貢献・高度医療等に係る大学の目標・計画について、学長がリーダーシップを発揮し、全学が共通認識を持ちながら、一体となって前進することを目指したガバナンスの強化を図る。こうした観点から、学内の管理運営体制、事務組織、職務の遂行方法などについて不断の見直しを行うとともに、大学運営の基盤となる財政力の強化を目指す。

教育・研究組織

第3期中期目標期間に実施した学部・大学院・研究所の改組を検証し、高等教育機関として必要な基盤学問領域を維持するとともに、本学の機能強化を発展させるべく、不断の改革を進める。今後の教育・研究組織の再編にあっては、それを支える教員組織の在り方についても見直す。

医療

地域の最後の砦として専門的かつ高度な最先端の医療を提供するとともに、情報通信技術などを活用し遠隔地への医療支援を推進する。

また、医師をはじめとする各種医療人材の育成や臨床研究などによる先進的医療技術の研究・開発に努めるため、教育・研究機関としての機能強化を図り、施設整備計画を推進するため経営基盤をより一層強化する。

歴代学長・沿革

歴代学長

初 代	医学博士／理学博士 事務取扱	丸 井 清 泰 富 野 壮子路	1949. 5.31 ~ 1953. 8.19 1953. 8.19 ~ 1954. 1.31
第 2 代	理学博士 事務取扱	郡 場 寛 富 野 壮子路	1954. 2. 1 ~ 1957.12.15 1957.12.15 ~ 1958. 1.31
第 3 代	理学博士	野 村 七 錄	1958. 2. 1 ~ 1962. 1.31
第 4 代	医学博士	佐 藤 照	1962. 2. 1 ~ 1968. 1.31
第 5 代	経済学博士	柳 川 昇	1968. 2. 1 ~ 1972. 1.31
第 6 代	医学博士	臼 浏 勇	1972. 2. 1 ~ 1978. 1.31
第 7 代	医学博士	大 池 弥三郎	1978. 2. 1 ~ 1982. 1.31
第 8 代	教育学博士	牧 野 吉五郎	1982. 2. 1 ~ 1986. 1.31
第 9 代	医学博士	東 野 修 治	1986. 2. 1 ~ 1992. 1.31
第 10 代	理学博士	手代木 涉	1992. 2. 1 ~ 1996. 1.31
第 11 代	医学博士	吉 田 豊	1996. 2. 1 ~ 2002. 1.31
第 12 代	医学博士	遠 藤 正 彦	2002. 2. 1 ~ 2012. 1.31
第 13 代	医学博士	佐 藤 敬	2012. 2. 1 ~ 2020. 3.31
第 14 代	医学博士	福 田 真 作	2020. 4. 1 ~



旧制弘前高等学校

青森県師範学校
(1876.9設置)

青森県尋常師範学校
(1886.9設置)

青森県師範学校
(1898.4設置)

青森県立実業補習学校教員養成所
(1931.2設置)

青森県女子師範学校
(1910.3設置)

青森県立青年学校教員養成所
(1935.4設置)

弘前高等学校
(1920.11設置)
(1950.3廃止)

青森師範学校
(1943.4設置)
(1951.3廃止)

青森青年師範学校
(1944.4設置)
(1951.3廃止)

青森医学専門学校
(1944.4設置)
(1951.3廃止)

弘前医科大学
(1948.2設置)
(1960.3廃止)

弘前大学

(1949.5.31 設置)
(2004.4.1 国立大学法人)



青森師範学校

学内共同教育研究施設等

- 保健管理センター(1967.6.1設置)
- アイソトープ総合実験室(1999.10.1設置)
- 出版会(2004.6.28設置)
- 資料館(2012.10.1設置)
- 学生総合相談室(1999.11.8設置)

教育研究院

(2015.10.1設置)

本 部

- 国際連携本部(2013.4.1設置)…(2016.10.1再編)
- 地域創生本部(2018.10.1設置)…(2020.4.1再編)
- 情報連携統括本部(2019.4.1設置)
 - 情報基盤センター(2019.4.1設置)

機 構

- 教育推進機構(2012.7.25設置)…(2015.10.1再編)
 - 教養教育開発実践センター(2015.10.1設置)
 - アドミッションセンター(2015.10.1設置)
 - キャリアセンター(2016.4.1設置)
 - 数理・データサイエンス教育センター(2022.4.1設置)
 - 学生特別支援室(2019.4.1再編)
 - 学生修学支援室(2021.4.1設置)
- 研究・イノベーション推進機構(2013.12.16設置)
 - 公用機器基盤センター(2019.4.1設置)
- COI研究推進機構(2013.12.16設置)
- 被ばく医療連携推進機構(2019.10.1設置)
 - 放射線安全総合支援センター(2015.10.16設置)(2019.10.1移管)
 - 災害・被ばく医療教育センター(2022.4.1設置)
- 健康未来イノベーション研究機構(2022.6.1設置)

その他

- 評価室(2004.4.1設置)
- 法人内部監査室(2008.4.1設置)
- 男女共同参画推進室(2009.10.1設置)
- 技術部(2019.12.1設置)

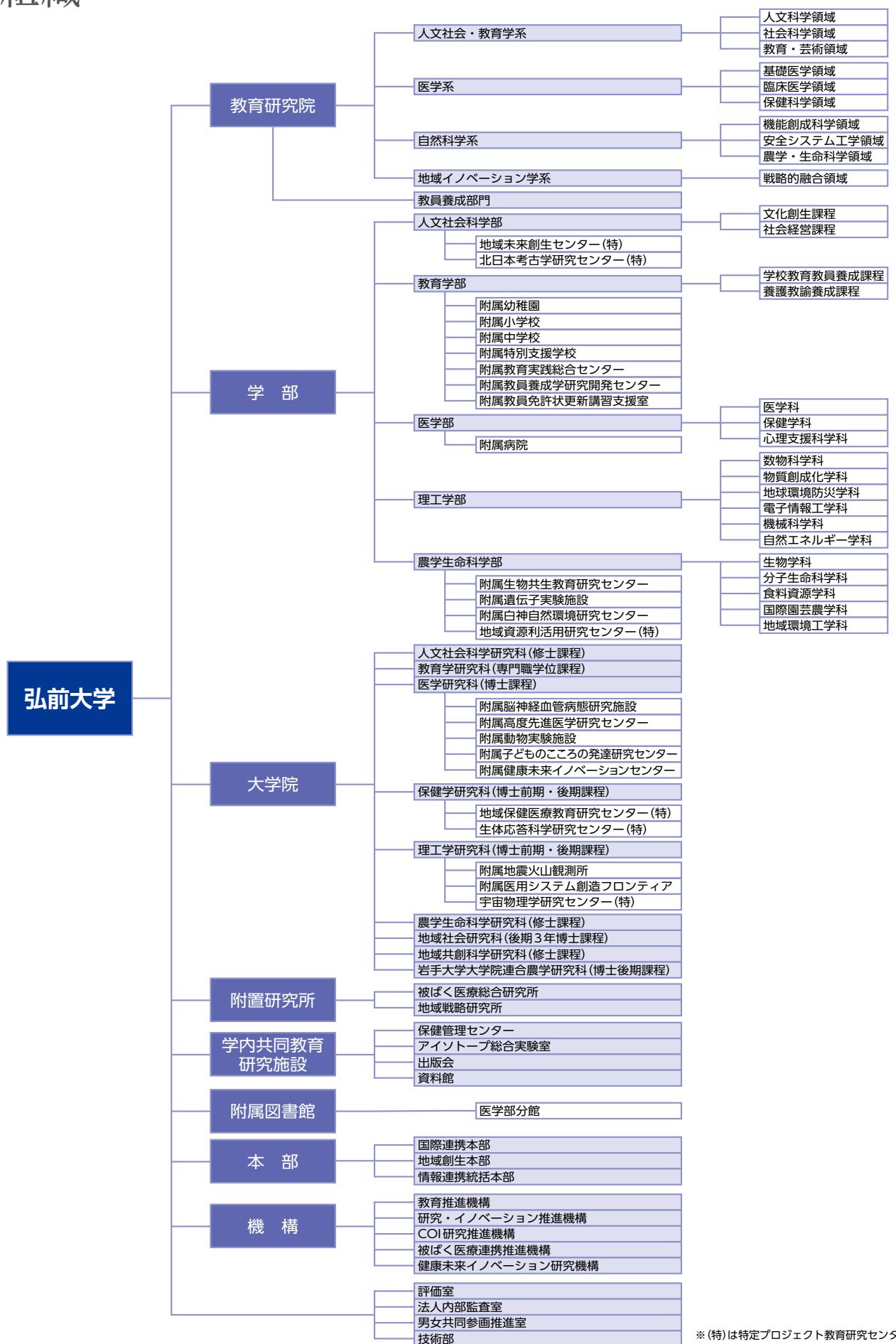
学部

人文社会科学部 (2016.4.1改組)	<ul style="list-style-type: none"> 文理学部設置(1949.5.31) 人文学部改組(1965.4.1) 人文社会科学部改組(2016.4.1)
教育学部 (2016.4.1改組)	<ul style="list-style-type: none"> 教育学部、野辺地分校設置(1949.5.31)、野辺地分校廃止(1960.3.31) 養護教諭養成所設置(1966.4.1)、廃止(1980.3.31) <ul style="list-style-type: none"> ●附属幼稚園(1949.5.31設置) ●附属小学校(1949.5.31設置) ●附属中学校(1949.5.31設置) ●附属特別支援学校(2007.4.1改称) <ul style="list-style-type: none"> ●附属養護学校(1974.4.1設置) ●附属教育実践総合センター(2001.4.1改組) ●附属教育実践研究指導センター(1988.4.8設置) ●附属教員養成研究開発センター(2003.10.1設置) ●附属教員免許状更新講習支援室(2016.10.1移管) ●教員免許状更新講習支援室(2008.10.1設置) 教育学部改組(2016.4.1)
医学部 (2020.4.1改組)	<ul style="list-style-type: none"> 医学部設置(1949.5.31) 医学部附属看護学校設置(1951.4.1)、廃止(1977.3.31) 医学部附属助産婦学校設置(1957.4.1)、廃止(1975.4.21) 医学部附属衛生検査技師学校設置(1967.4.1)、附属臨床検査技師学校改称(1972.4.1)、廃止(1978.3.31) 医学部附属診療放射線技師学校(1969.4.1)、廃止(1979.3.31) 教育学部特別教科(看護)教員養成課程及び医療技術短期大学部改組、医学部保健学科設置(2000.10.1) 医学部心理支援科学科設置(2020.4.1) ●附属病院(1949.5.31設置)
理工学部 (2016.4.1改組)	<ul style="list-style-type: none"> 文理学部設置(1949.5.31) 理学部改組(1965.4.1) 理工学部改組(1997.10.1) 理工学部改組(2016.4.1)
農学生命科学部 (2016.4.1改組)	<ul style="list-style-type: none"> 文理学部に【農学科】設置(1951.4.1)、廃止(1955.3.31) 農学部設置(1955.7.1) 農学生命科学部改組(1997.10.1) <ul style="list-style-type: none"> ●附属生物共生教育研究センター(2000.4.1改組) <ul style="list-style-type: none"> ●附属遺伝子実験施設(2011.4.1移管) ●遺伝子実験施設(1993.4.1設置) ●附属白神自然環境研究センター(2018.4.1移管) <ul style="list-style-type: none"> ●附属白神自然環境研究所(2010.10.1設置) ●白神自然観察園(2009.4.1設置) 農学生命科学部改組(2016.4.1)

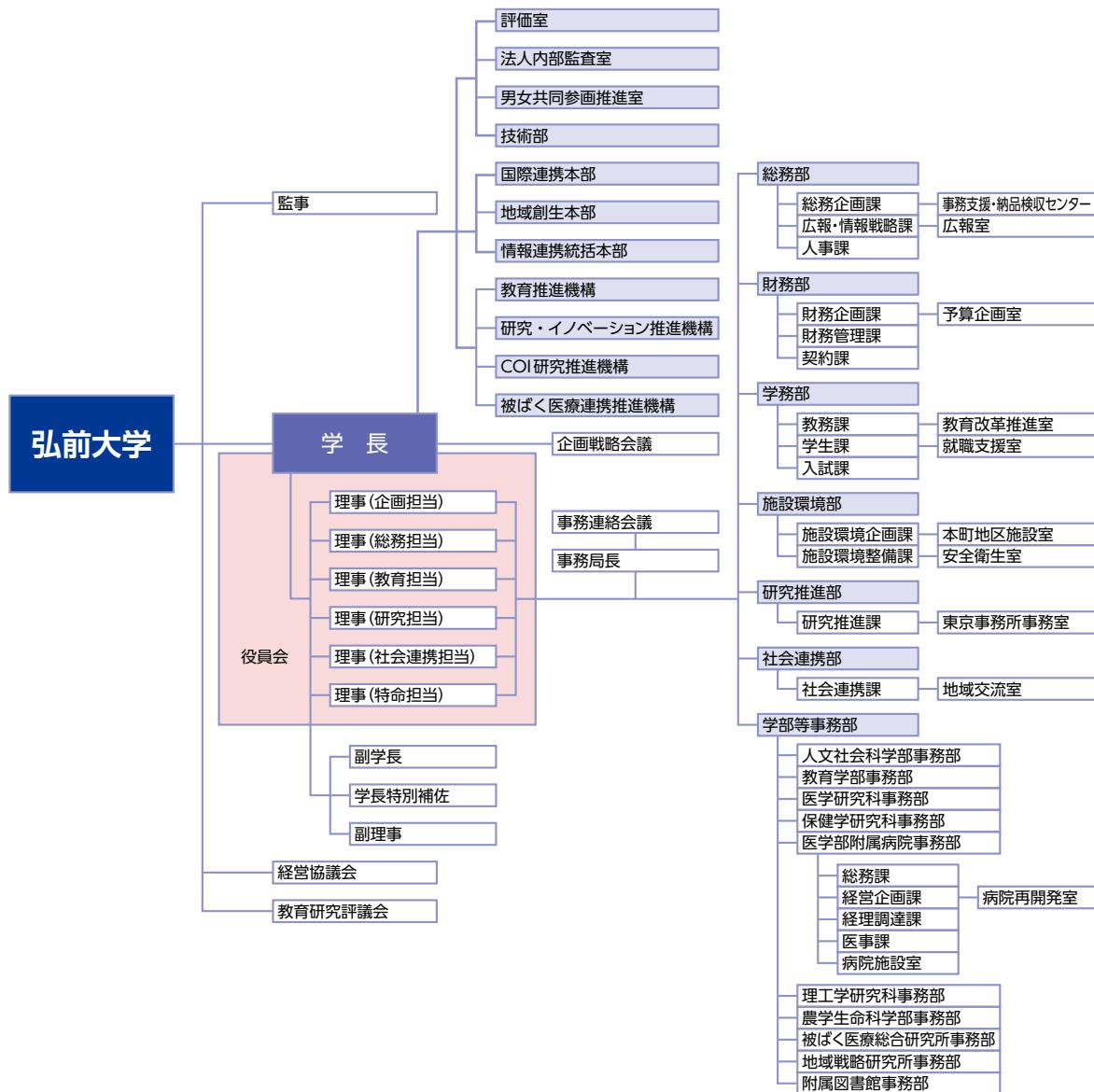
大学院

人文社会科学研究科(2020.4.1改組)	<ul style="list-style-type: none"> 人文学専攻科設置(1972.4.1)、廃止(1999.3.31) 人文科学研究科(修士課程)設置(1989.4.1) 人文社会科学研究科(修士課程)改組(1999.4.1) 人文社会科学研究科(修士課程)改組(2020.4.1)
教育学研究科 (2020.4.1改組)	<ul style="list-style-type: none"> 教育専攻科設置(1966.4.1)、廃止(1994.3.31) 教育学研究科(修士課程)設置(1994.4.1)、廃止(2020.3.31) 教職実践専攻(専門職学位課程)設置(2017.4.1) 教職実践専攻(専門職学位課程)改組(2020.4.1)
医学研究科 (2007.4.1改称)	<ul style="list-style-type: none"> 医学研究科(博士課程)設置(1958.4.1) 医学系研究科改称(2005.4.1) 医学研究科(博士課程)改称(2007.4.1) <ul style="list-style-type: none"> ●附属脳神経血管病態研究施設(1999.4.1改組) <ul style="list-style-type: none"> ●附属動物実験施設(1979.4.1設置) ●附属高度先進医学研究センター(2005.4.1設置) ●附属脳卒中研究施設(1965.4.1設置) ●附属脳神経疾患研究施設(1989.5.29改組) ●附属子どものこころの発達研究センター(2014.4.1設置) ●附属健康未来イノベーションセンター(2020.8.1移管) <ul style="list-style-type: none"> ●健康未来イノベーションセンター(2017.2.22設置)
保健学研究科 (2007.4.1設置)	<ul style="list-style-type: none"> 医学系研究科保健学専攻(修士課程)設置(2005.4.1) 保健学研究科(博士前期・後期課程)設置(2007.4.1)
理工学研究科 (2010.4.1改組)	<ul style="list-style-type: none"> 理学専攻科設置(1969.4.1)、廃止(1978.3.31) 理学研究科(修士課程)設置(1977.4.1) 理工学研究科(修士課程)改組(2002.4.1) 理工学研究科(博士前期・後期課程)設置(2004.4.1) 理工学研究科(博士前期課程)改組(2010.4.1) <ul style="list-style-type: none"> ●附属地震火山観測所(1981.4.1設置) ●附属医用システム創造フロンティア(2014.4.1設置)
農学生命科学研究科(2012.4.1改組)	<ul style="list-style-type: none"> 農学専攻科設置(1960.4.1)、廃止(1971.3.31) 農学研究科(修士課程)設置(1971.4.1) 岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程)参加(1990.4.1) 農学生命科学研究科(修士課程)改組(2002.4.1) 農学生命科学研究科(修士課程)改組(2012.4.1)
地域社会研究科 (2002.4.1設置)	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会研究科(後期3年博士課程)設置(2002.4.1)
地域共創科学研究科(2020.4.1設置)	<ul style="list-style-type: none"> 地域共創科学研究科(修士課程)設置(2020.4.1)
被ばく医療総合研究所 (2010.10.1設置)	<ul style="list-style-type: none"> 被ばく医療教育研究施設設置(2010.3.23) 被ばく医療総合研究所設置(2010.10.1)
地域戦略研究所 (2018.4.1設置)	<ul style="list-style-type: none"> 北日本新エネルギー研究センター設置(2009.3.23) 北日本新エネルギー研究所設置(2010.10.1) 食料科学研究所設置(2013.3.25) 地域戦略研究所設置(2018.4.1)

組織



事務機構



教育研究院

組織

学部、研究科等における教育の高度化と研究の発展を図るため、全学一体として機能発揮できる体制の構築を目的に、教育研究組織から分離した教員組織として「教育研究院」を設置しています。

組織構成



学系・領域

教育研究院には、基本的学問分野として「学系」を置き、学系の下に学問領域に対応した「領域」を置く。学問領域に加え、本学の特色であるエネルギー、環境、健康、食、地域資源等を活用した地域発展志向の「地域イノベーション学系」を置く。

教員養成部門

教員養成を担当する教員により組織される「教員養成部門」を置く。

学系会議・領域会議

各学系に、学系会議を置き、学系の各領域に領域会議を置く。

教員人事

本学の教育、研究、社会貢献、診療、管理運営等を円滑に実施するため、全学的な視点から一元的な教員人事を行う。

学部・大学院



人文社会科学部

Faculty of Humanities and Social Sciences

時代の変化に対応できる専門知識・技能と
課題解決能力の習得を目指して

人文社会科学部は、北東北地域における人文社会科学分野の
主要な高等教育研究拠点のひとつです。少子高齢化の急速な
進行、世界規模でのグローバル化の進展等によって、日本社会
が大きな変化を迫られている状況の中で、確かな価値観と
行動原理に裏づけられた、人文社会科学分野の専門知識・技能
と現実の課題解決能力をそなえた人材育成を目指します。

- 文化創生課程 文化資源学コース／多文化共生コース
- 社会経営課程 経済法律コース／企業戦略コース／地域行動コース

大学院

人文社会科学研究科（修士課程）

Graduate School of Humanities and Social Sciences (Master's Course)

グローバル化と共生の時代に人文社会科学
の深奥を究める

人文社会科学研究科は、人文社会科学専攻のもとに、文化芸術コース・現代共生コース・政策科学コースという3つの
コースを設置しています。各コースでは、それぞれの学問分
野に関係した高度で特色ある教育・研究を通して、グローバ
ル化と共生の時代に相応しい資質・能力を身につけた人文社
会科学系の高度専門職業人として、我が国の文化の振興や経
済・産業の活性化等の面から人間社会の発展に寄与する人材
の養成を目的としています。

- 人文社会科学専攻

文化芸術コース／現代共生コース／政策科学コース



教育学部

Faculty of Education

教員・教育者育成への新たな挑戦

教育学部は、学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程から
構成されており、優秀な教育者並びに職業人の養成を目標に、
人文・社会・自然等の諸科学、芸術、体育並びに教育科学に
関する教育研究が行われています。そして、その実証的研究
や学生の実習を行うため、本学部には教育実践総合センター、
教員養成研究開発センター、幼稚園、小学校、中学校、特別
支援学校が附属して設置されています。

- 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻／特別支援教育専攻
- 養護教諭養成課程

大学院

教育学研究科（専門職学位課程）

Graduate School of Education (Professional Degree Course)

理論と実践の往還・融合

教育学研究科は、教職実践専攻をもつ専門職大学院です。
教育実践力に秀でた新人教員の育成とミドルリーダーの養成
を目的に、現職教員学生を対象にした「ミドルリーダー養成
コース」と学部新卒学生を対象とした「学校教育実践コー
ス」、「教科領域実践コース」、「特別支援教育実践コース」の
4コースを設置しています。青森県が直面している教育課題
に対して、理論と実践の往還・融合を通じて、その解決に向
けた教育実践を創造しリードする教員を養成します。

- 教職実践専攻（専門職学位課程）

ミドルリーダー養成コース／学校教育実践コース／教科領域実践コース／
特別支援教育実践コース

学部・大学院



医学部医学科

School of Medicine

医学部医学科では以下のよう
「理念・目的」を定めています

- ①人間の尊厳を希求し、医学の発展の一翼を担います。
- ②豊かな人間性と高度の医学知識に富み、求められる社会的役割を的確に果たすことができ、広い視野と柔軟な思考力を持つ医師、医学研究者を養成します。
- ③それぞれの専門性を生かした国際水準の基礎的、応用的な医学研究を推進します。
- ④高度で先端的な医療を地域社会と連携しつつ実践します。

●講座等は大学院医学研究科に所属

大学院

医学研究科（博士課程）

Graduate School of Medicine (Doctoral Course)

高度で専門的な教育・研究を行います

医学研究科は、医学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の発展に寄与することを目的としています。その課程では、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、また、他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとします。

●医科学專攻

〈基礎講座〉

神経解剖・細胞組織学／生体構造医科学／統合機能生理学／ゲノム生化学／病態薬理学／分子病態病理学／病理生命科学／感染生体防御学／社会医学／法医学
〈臨床講座〉

消化器血液内科学／循環器腎臓内科学／呼吸器内科学／内分泌代謝内科学／腫瘍内科学／神経精神医学／小児科学／胸部心臓血管外科学／消化器外科学／整形外科学／リハビリテーション医学／皮膚科学／泌尿器科学／眼科学／耳鼻咽喉科学／放射線腫瘍学／放射線診断学／産科婦人科学／麻酔科学／脳神経外科学／歯科口腔外科学／形成外科学／救急・災害医学／臨床検査医学／病理診断学／小児外科学／医学医療情報学／総合診療医学／薬剤学／輸血・再生医学／医療安全学／医療倫理学

●附属教育研究施設等

〈附属脳神経血管病態研究施設〉

脳神経病理解学／脳血管病態学／脳神経生理学／脳神経内科学

〈附属高度先進医学研究センター〉

分子生体防御学／糖鎖工学

〈附属動物実験施設〉

〈附属子どものこころの発達研究センター〉

〈附属健康未来イノベーションセンター〉

医療データ解析学／先制医療学

〈寄附講座〉

不整脈先進治療学／先進移植再生医学／地域医療学／心臓血管病先進治療学／脳卒中・血管内科学／大館・北秋田地域医療推進学／地域医療支援学／

地域救急医療学／総合地域医療推進学／生体高分子健康科学／心臓病遠隔管理システム開発学／むつ下北地域医療学／先進血液浄化療法学／脳神経血管内治療学／地域周術期管理医学／地域侵襲制御医学

〈共同研究講座〉

アクティブライフプロモーション学／先制栄養医学／ウォーターヘルスサイエンス／女性の健康推進医学／野菜生命科学／フローラ健康科学／QOL推進医学／

食と健康科学／未病科学研究／メタボロミクスイノベーション学／デジタルニュートリション学／分子輸送学／プレシジョンヘルスケア学／データヘルス研究／

ビューティウェルネス学研究



医学部保健学科

School of Health Sciences

高度な医療技術と豊かな人間性を持った医療従事者の育成

医学部保健学科は5専攻を有し、多様な保健医療専門職を養成する機関です。教育学部特別教科(看護)教員養成課程と医療技術短期大学部を前身とし、保健医療専門職教育における長い歴史と実績を有しています。校舎は本町キャンパスに位置し、約800人の学生が所属しています。弘前大学医学部保健学科の使命は、保健学における適切で高度な専門教育を提供し、健康の質を改善すると共に、国民の健康と福祉の増進に寄与することです。

- 看護学専攻
- 放射線技術科学専攻
- 検査技術科学専攻
- 理学療法学専攻
- 作業療法学専攻

医学部心理支援科学科

School of Clinical Psychological Science

心理学を中心とする高度な専門知識・技能、

豊かな人間性・倫理性を兼ね備えた心理支援職の養成

医学部心理支援科学科は、医学部の3番目の学科となる、公認心理師養成を想定した学士課程として、令和2年4月に開設されました。校舎は本町キャンパスにあり、現在は1年生11名、2年生11名、3年生10名が在籍しています。本学科では、心理学・臨床心理学だけでなく、医学・保健学など専門領域に関する知識と技能の修得と科学的思考力、こころの問題に対する感受性、悩める人に寄り添う姿勢、生命に対する高い倫理性の涵養を図ります。そして、心理支援職としての役割を通して、地域住民の健康と福祉に寄与し、社会に貢献する人材を育成していきます。

大学院

保健学研究科

Graduate School of Health Sciences (Master's Course / Doctoral Course)

【博士前期課程】

問題分析・解析能力を備えた高度医療専門職者の育成

保健学研究科博士前期課程では、学部教育をさらに発展させ、保健学の領域における教育と研究を通して知的財産を創造・蓄積すると共に、実践の場でリーダーシップを發揮し、指導的役割を果たすことのできる“コ・メディカルスタッフ”的の育成を目指しています。また、緊急被ばく医療に関する高度専門職やリーダーを養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コース及び放射線被ばくに関連した複雑な健康問題を持つ個人、家族及び集団に対して高度看護実践を行える人材を育成する放射線看護高度看護実践コースも設定しています。

●保健学専攻

看護学領域／放射線技術科学領域／生体検査科学領域／総合リハビリテーション科学領域

【博士後期課程】

独創性・創造性豊かな教育研究者の育成

保健学研究科博士後期課程では、学部及び博士前期課程における教育・研究を通して得られた保健学に関する知識・技術・研究基礎能力を更に高め、人々の健康を保持増進し、生活の質(QOL)向上に向けた独創的・学際的な研究を自立的に進め、幅広い学識と高度な専門性・倫理性を身に付けた教育・研究者を育成することを目的とします。また、緊急被ばく医療における高度な教育者及び研究者を養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コースも設定しています。

●保健学専攻

看護学領域／放射線技術科学領域／生体検査科学領域／総合リハビリテーション科学領域

学部・大学院



理工学部

Faculty of Science and Technology

科学力を養い、人間力を磨く

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養う教育カリキュラムを提供することによって、自然のしくみを探求する力、先端技術社会を支える科学を発展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目指しています。

- 数物科学科
- 物質創成化学科
- 地球環境防災学科
- 電子情報工学科
- 機械科学科
- 自然エネルギー学科

大学院

理工学研究科

Graduate School of Science and Technology (Master's Course / Doctoral Course)

【博士前期課程】

理工融合を特徴とした高度専門教育

理工学研究科博士前期課程は、理工学に関わる教育を第一義とし、科学技術の高度化・多様化に順応することのできる高度専門職業人の育成を目指しています。4年間の学部教育と2年間の博士前期課程教育との連携を重視しつつ、従来の既成概念にとらわれない、基礎と応用及びその境界領域を含む、学際性を重視した理工融合を特徴とする高度専門教育を行っています。

●理工学専攻

- 数物科学コース／物質創成化学コース／地球環境防災学コース／
電子情報工学コース／機械科学コース／自然エネルギー学コース

【博士後期課程】

未来を切り開く先端科学技術の創造

理工学研究科博士後期課程は、社会に役立つ物質・材料の開発とその応用技術の確立を目指す機能創成科学専攻並びに高度に発達した社会における自然災害・人的社会的災害に対する危機管理技術の確立を目指す安全システム工学専攻の2専攻構成になっています。それぞれの専攻では、理学や工学の既成概念にとらわれず、科学技術の高度化・多様化に順応できる幅広い視野を持ち、学際的課題を解決し得る柔軟で総合的な判断力を有する高度専門職業人及び研究者の養成に重点を置いた教育を行っています。

●機能創成科学専攻 ●安全システム工学専攻

- [附属教育研究施設]
・附属地震火山研究所
・附属医用システム創造フロンティア
[共同研究講座]
・リチウム資源循環工学講座



農学生命科学部

Faculty of Agriculture and Life Science

生物学、農学、経済並びに工学における実験と実習を重点的に行います

農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけた人材、課題探究・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍できる人材及び豊かな人間性を身につけ、創造性と主体性を持って地域はもとより国際的にも活躍できる人材の育成を目指しています。

- 生物学科
 - 分子生命科学科
 - 食料資源学科
 - 国際園芸農学科
 - 地域環境工学科
- [附属教育研究施設]
- ・附属生物共生教育研究センター
藤崎農場／金木農場
 - ・附属遺伝子実験施設
 - ・附属白神自然環境研究センター

白神自然観察園



大学院

農学生命科学研究科 (修士課程)

Graduate School of Agriculture and Life Science (Master's Course)

農学生命科学分野において 高度で専門的な教育・研究を行います

農学生命科学研究科には、生物学、分子生命科学、食料資源学、国際園芸農学および地域環境工学の5つのコースがあります。それぞれの学生は自身の将来の希望に基づき、2つの教育プログラム、すなわち学術研究プログラム（研究者養成）または実践研究プログラム（専門技術者養成）からいずれかを選択できます。広範囲な技術を理解し、熟練した地域社会の発展に貢献できる高度専門技術者、国際的視野をもつ優れた技術者並びに時代の要請を先取りし先端的研究に挑戦できる研究者の養成を目指します。

●農学生命科学専攻

- 生物学コース／分子生命科学コース／食料資源学コース／
国際園芸農学コース／地域環境工学コース

大学院

地域社会研究科 (後期3年博士課程)

Graduate School of Regional Studies (Doctoral Course)

高度専門職業人の養成

地域社会研究科は、地域の持つ特有の課題に具体的に対処する人材を養成し、併せて実効性のある研究成果を生み出す教育研究機関として、活力ある地域社会の実現に積極的に貢献することを目的とし、2002年度に設置されました。本研究科は後期3年博士課程の独立研究科で、地域産業研究講座・地域文化研究講座・地域政策研究講座の3講座があります。3年間の学習と研究及び博士論文の作成によって「博士(学術)」の学位を取得できる指導体制をとっており、地域社会のさまざまな分野で活躍中の社会人も多数在籍しています。

●地域社会専攻

大学院

地域共創科学研究科 (修士課程)

Graduate School of Sustainable Community Studies

“地域社会の未来を切り拓く フロントランナー”を育成

地域共創科学研究科は、2020年に設立された総合的な大学院です。社会学・工学を中心とした地域リノベーション専攻と、経営学・農学を中心とした産業創成科学専攻の2専攻で構成され、弘前大学の人文社会科学部、教育学部、理工学研究科、農学生命科学部、地域社会研究科、地域戦略研究所の教員が教育・研究に参加しています。文系・理系の院生が共に新たな価値をつくりだす文理共創と、地域と大学が協働して新たな価値を生みだす域学共創を通して、地域課題解決に資する高度な専門性と俯瞰性を兼ね備えた「地域社会の未来を切り拓くフロントランナー」の育成を目指します。

●地域リノベーション専攻

コミュニケーションデザイン領域／レジリエンステクノロジー領域

●産業創成科学専攻

食産業イノベーション領域／グローカルビジネス領域

岩手大学大学院

連合農学研究科 (博士後期課程)

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Iwate University
(Doctoral Course)

国際水準を目指す研究者や 高度専門職業人の養成

本研究科は、弘前大学、岩手大学ならびに山形大学の3大学院農学研究科(修士課程)の教員組織、研究設備及び施設の連合により設立されました。各大学は、それぞれ教育と研究活動の両面において特色を備えています。本研究科の設置の目的は、我が国の北部に位置する各構成大学の特色を生かした教育と研究体制を整えることによって、生物生産科学、生物資源科学、地域環境創生学に関する先端的・学際的研究を推進することです。これらの研究指導を通じて、高度の専門的能力と豊かな学識を備えた研究者・技術者を養成し、我が国の学術研究の進歩と関連産業並びに社会の発展に寄与するものであります。また、本研究科は、学術の国際交流を積極的に進める体制を作り、最近著しく増加している外国人留学生の受け入れについて、積極的に応じています。

●生物生産科学専攻

●地域環境創生学専攻

●生物資源科学専攻

医学部附属病院



医学部附属病院

University Hospital

生命倫理に基づいた高度医療の提供、開発、教育

医学部附属病院は70年余にわたり、北東北医療圏の中心的中核病院として高度・高質医療の提供、先進医療の開発、医療従事者の教育・研修、それらを通しての地域貢献という役割を果たし、発展を続けています。

診療科等

- | | | | | | |
|--------|----------|---------|---------|---------|-------------|
| ●消化器内科 | ●内分泌内科 | ●小児科 | ●整形外科 | ●放射線診断科 | ●歯科口腔外科 |
| ●血液内科 | ●糖尿病代謝内科 | ●呼吸器外科 | ●皮膚科 | ●産科婦人科 | ●病理診断科 |
| ●膠原病内科 | ●感染症科 | ●心臓血管外科 | ●泌尿器科 | ●麻酔科 | ●救急科 |
| ●循環器内科 | ●脳神経内科 | ●消化器外科 | ●眼科 | ●脳神経外科 | ●リハビリテーション科 |
| ●呼吸器内科 | ●腫瘍内科 | ●乳腺外科 | ●耳鼻咽喉科 | ●形成外科 | ●総合診療部 |
| ●腎臓内科 | ●神経科精神科 | ●甲状腺外科 | ●放射線治療科 | ●小児外科 | ●高度救命救急センター |



災害派遣医療チーム (DMAT)



ハイブリッド手術システム



遠隔操作型内視鏡下手術システム「ダ・ヴィンチ」

高度救命救急センター

医学部附属病院には、緊急被ばく医療にも対応する高度救命救急センターが稼働しています。



病院全景とヘリポート



センター地下1階
特殊処置室 (訓練の模様)

病床数

2022(令和4)年5月1日現在

診療科	病床種別数		
	一般	精神	感染
消化器内科／血液内科／膠原病内科	39		
循環器内科／腎臓内科	37 (47)		
呼吸器内科／感染症科	26		
内分泌内科／糖尿病代謝内科	29		
脳神経内科	10		
腫瘍内科	6		
神経科精神科		41	
小児科	36		
呼吸器外科／心臓血管外科	25		
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科	45		
整形外科	48		
皮膚科	12		
泌尿器科	37		
眼科	26		
耳鼻咽喉科	34		
放射線治療科	21		
放射線診断科			
産科婦人科	38		
麻酔科	2		
脳神経外科	21		
形成外科	15		
小児外科	6		
歯科口腔外科	12		
救急科	2		
リハビリテーション科	4		
感染症病床			6
RI	5		
ICU	16		
ICTU	3		
NICU	6		
GCU	10		
SCU	6		
高度救命救急センター	20 (10)		
合 計	597	41	6

※1()内の病床数は、高度救命救急センターの後方病床10床を含む病床数。
 ※2()内の病床数は、後方病床10床を除く病床数。

患者数

2021(令和3)年度

診療科	入院患者数		外来患者数	
	患者延数	1日平均患者数	患者延数	1日平均患者数
消化器内科／血液内科／膠原病内科	11,641	31.9	34,550	142.8
循環器内科／腎臓内科	15,442	42.3	18,540	76.6
呼吸器内科／感染症科	9,056	24.8	11,792	48.7
内分泌内科／糖尿病代謝内科	7,760	21.3	23,553	97.3
脳神経内科	3,317	9.1	5,031	20.8
腫瘍内科	1,538	4.2	3,274	13.5
神経科精神科	5,570	15.3	21,968	90.8
小児科	14,285	39.1	8,049	33.3
呼吸器外科／心臓血管外科	9,551	26.2	4,756	19.7
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科	14,332	39.3	14,959	61.8
整形外科	16,266	44.6	27,161	112.2
皮膚科	4,155	11.4	17,048	70.4
泌尿器科	11,654	31.9	16,907	69.9
眼科	6,170	16.9	12,663	52.3
耳鼻咽喉科	11,244	30.8	16,740	69.2
放射線治療科	5,694	15.6	17,707	73.2
放射線診断科	68	0.2	30,425	125.7
産科婦人科	11,590	31.8	18,918	78.2
麻酔科	203	0.6	14,766	61.0
脳神経外科	11,370	31.2	5,814	24.0
形成外科	4,575	12.5	4,875	20.1
小児外科	1,148	3.1	2,383	9.8
歯科口腔外科	3,646	10.0	12,001	49.6
救急科	1,308	3.6	3,176	13.1
リハビリテーション科	655	1.8	46,097	190.5
総合診療部	-	-	752	3.1
合 計	182,238	499.3	393,905	1,627.7

[注] 外来診療実日数242日
 放射線診断科の入院患者は、放射線治療科の病床を利用。

区分	入院患者数	外来患者数
2017(平成29)年度	193,846	375,887
2018(平成30)年度	193,338	379,988
2019(令和元)年度	190,178	386,170
2020(令和2)年度	177,896	374,421
2021(令和3)年度	182,238	393,905

附属図書館



附属図書館

University Library

地域に開かれた“知の交錯する場所”へ

弘前大学附属図書館は1949年5月に設置され、附属図書館本館、医学部分館の構成で運用されています。現在、約83万冊の図書資料、約25,000種類の雑誌を所蔵し、電子ジャーナル約8,000誌や電子ブック6,400点の閲読が可能です。利用サービスは、休業期間中を除き土曜日、日曜日も開館し、教育・研究活動を支援すると共に地域社会にも公開し、一般の方への貸出も行っています。また、ホームページにより、利用案内、蔵書目録、電子ジャーナル、大学研究情報等の情報発信を行っています。

蔵書数

2022(令和4)年3月31日現在

区分	本館		医学部分館		合計
	和漢書	洋書	和漢書	洋書	
合計	524,344	160,122	83,665	64,735	832,866



英語学習のための多読用図書に囲まれた
「グローバル・スクエア」

利用状況

2021(令和3)年度

区分	開館日数	入館者数	貸出	
			人数	冊数
本館	306	196,198	23,950	42,596
医学部分館	329	35,425	6,136	10,408
合計		231,623	30,086	53,004



1階新着図書展示コーナー



「こぎん刺し」や「ブナコ」のライトが
お洒落な閲覧室



グループ学習できる
「アクティブ・ラーニング・エリア」



PCを使いながら静かに集中して
学修できる2階閲覧室



明るく開放的な「オープンラウンジ」 太宰治自筆ノートなど貴重な資料も保管



手動式集密書架の収蔵スペース



手動式集密書架の収蔵スペース

附置研究所



被ばく医療総合研究所

Institute of Radiation Emergency Medicine

設置時期：2010(平成22)年10月

被ばく医療総合研究所では、外部及び内部被ばく線量評価の高度化、環境中の放射性核種と環境放射線の分析法・計測法の新規開発、放射性核種の環境動態解析、染色体異常を用いた被ばく線量評価や発がんのメカニズム解明など、被ばく医療に資する基礎的研究を行っています。青森県には多くの原子力関連施設があることから、万が一の原子力災害や放射線被ばく事故に備えることが重要です。

また、福島原発事故への対応を受けて、国の原子力災害時及び平常時における被ばく医療体制が大きく見直され、弘前大学は原子力災害に対応するナショナルセンターに指定されており、本研究所はその中心的な役割を担っています。

さらに、2019年度からは、文部科学大臣から認定を受けた「放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点」を設置し、令和4年度開始の第4期中期目標・中期計画期間も国内外機関と緊密な連携による研究活動を継続して展開します。これらの事業に対応するため、当研究所は明確なミッションを担う5つの研究部門で構成されています。弘前大学の特徴的な取組みの一つである「被ばく医療と放射線防護に資する基礎研究」を推進する専門家集団として、国際的な視野を有する専門的人材の育成、世界トップレベルの研究開発や国際的なネットワーク構築、さらには国際標準化活動にも積極的に取り組んでいます。

【研究部門】

- 計測技術・物理線量評価部門
- リスク解析・生物線量評価部門
- 放射化学・生態影響評価部門
- 国際連携・共同研究推進部門
- 被ばく医療学部門



地域戦略研究所

Institute of Regional Innovation

設置時期：2018(平成30)年4月

地域戦略研究所は、北日本新エネルギー研究所及び食料科学研究所の統合再編により、新エネルギーの研究開発及び食料科学に関する専門的かつ学際的な研究を推進し、本学の教育研究の進展と社会及び産業の発展に資することを目的に、平成30年4月に設置されました。3つの部門からなり、新エネルギー研究部門では、青森県内に豊富に存在する再生可能エネルギーを中心としたエネルギー資源の開発及び利活用と地域の特性を生かしたエネルギー・システムに関する研究・教育・実践を行います。食料科学研究部門では、食品の機能性研究を通じて青森県の農林水産物の高付加価値化を図り、「北日本におけるグローバル食の成長戦略」の核となる拠点形成をめざします。戦略企画部門では、大学と地域との連携を強化し、社会実装や地域発展につながる研究を通じ、地域の課題解決をめざします。新たな研究所は、エネルギーと食料を軸とした地域支援をビジョンとして活動し、研究者と地域の方々を結び付けるハブとしての機能も兼ね備え、大学として教育研究を通じて人的資源の発展にも貢献していきます。

【研究部門】

- 新エネルギー研究部門
- 食料科学研究部門（青森市柳川）
- 戦略企画部門（青森市柳川）

学内共同教育研究施設



健康管理センター

Health Administration Center

設置時期：1967(昭和42)年6月

健康管理センターでは、学生と職員が心身ともに健康な生活を送るように援助やサービス（健康診断、応急処置、健康相談、カウンセリングなど）を提供し、学生と職員の健康維持と病気予防のための研究調査を行っています。フィジカルヘルスサービスとして、健康診断で所見があつた方、あるいは健康に問題をお持ちの方への説明、相談に応じています。また、メンタルヘルスサービスとしては、学生・職員生活を送る上でのさまざまな悩みや心配事の相談に応じます。



アイソトープ総合実験室

Radioisotope Laboratory

設置時期：1999(平成11)年10月

アイソトープ総合実験室は、放射性同位元素（RI）を利用した教育・研究の学内共同利用施設です。非密封 RI を使用した40人規模の学生実習や、医学における基礎的研究、臨床応用研究を中心に、理工学・農学などの幅広い分野の実験で全般的に利用されています。また、法令で義務づけられた教育訓練を実施し、放射性同位元素の使用に関し、適切な安全管理と利用の促進を旨に最善の教育ならびに研究の場を提供するために努めています。



出版会

Hirosaki University Press

設置時期：2004(平成16)年6月

出版会は、学術に関する書籍の出版を通じて、我が国の高等教育・学術・科学の発展、および北東北を中心とする地域社会・文化の振興に寄与することを目的としています。本学教職員の教育研究の成果、地域社会の様々な課題に対する取り組み、地域の魅力的な文化の再発見など、多様なテーマに関する魅力的な書籍を刊行しています。



資料館

Hirosaki University Museum

設置時期：2012(平成24)年10月

資料館は、本学の歴史を伝える貴重な資料、地域社会・文化・自然に関する研究・教育の成果を展示・紹介し、本学の教育に資するとともに、北東北を中心とする地域との連携に寄与することを目的としています。弘大ねぶた絵の変遷、旧制弘前高校時代の太宰治の自筆ノート、各部局が所蔵する貴重資料の常設展示、教職員および学内の研究・教育プロジェクトによる取り組みの成果を紹介する企画展示の運営・拡充に努めています。

本部



国際連携本部

Department of International Education & Collaboration

設置時期：2013(平成25)年4月

国際連携本部は、本学の国際化推進に係る施策の企画立案等を行い、大学間協定校等との交流を通じ、本学の教育研究の更なる国際化に資することを目的としています。平成28年10月、国際教育センターを統合し、本学学生への留学支援、外国人留学生の受け入れ支援のための教育、助言、地域の国際交流支援などを行っています。



情報連携統括本部

Information Management Headquarters

設置時期：2019(平成31)年4月

情報連携統括本部は、全学情報総括責任者を本部長とし、弘前大学における情報戦略の企画・立案並びに情報システムの管理運営を行うとともに、情報セキュリティ対策に係る業務を推進することを目的として平成31年4月に設置されました。本部には情報戦略の企画立案および推進に関する業務を行う情報戦略企画室と、情報基盤センターが置かれています。情報基盤センターには、情報基盤システムや学内 LAN システムの管理運用を担う情報基盤運用部門、全学的な情報セキュリティインシデント対応や対策の運用管理を担う情報管理対策部門が置かれ、本学構成員の皆様の安全安心で快適なコンピュータ・ネットワーク利用を支えます。

本部

地域創生本部

Regional Revitalization Division

設置時期：2018（平成30）年10月

地域創生本部は、地域活性化の中核的拠点としての機能の充実・強化に向けて、地域の特性を活かした施策を大学が戦略的かつ一体的に推進するため、平成30年10月に設置しました。令和2年4月に組織再編を行い、現在の体制となりました。

組織のトップを学長が務め、全ての理事、学部長・研究科長等を構成員とする本部は、地域活性化に関する施策の基本方針を策定し、地域活性化の観点で学内組織を横断的に総括する役割を担うとともに、本部内に設置した「地域創生推進室」においては、基本方針を踏まえた本部の運営、地域活性化施策の企画・立案、総合調整や総合窓口機能の強化に取り組んでいます。

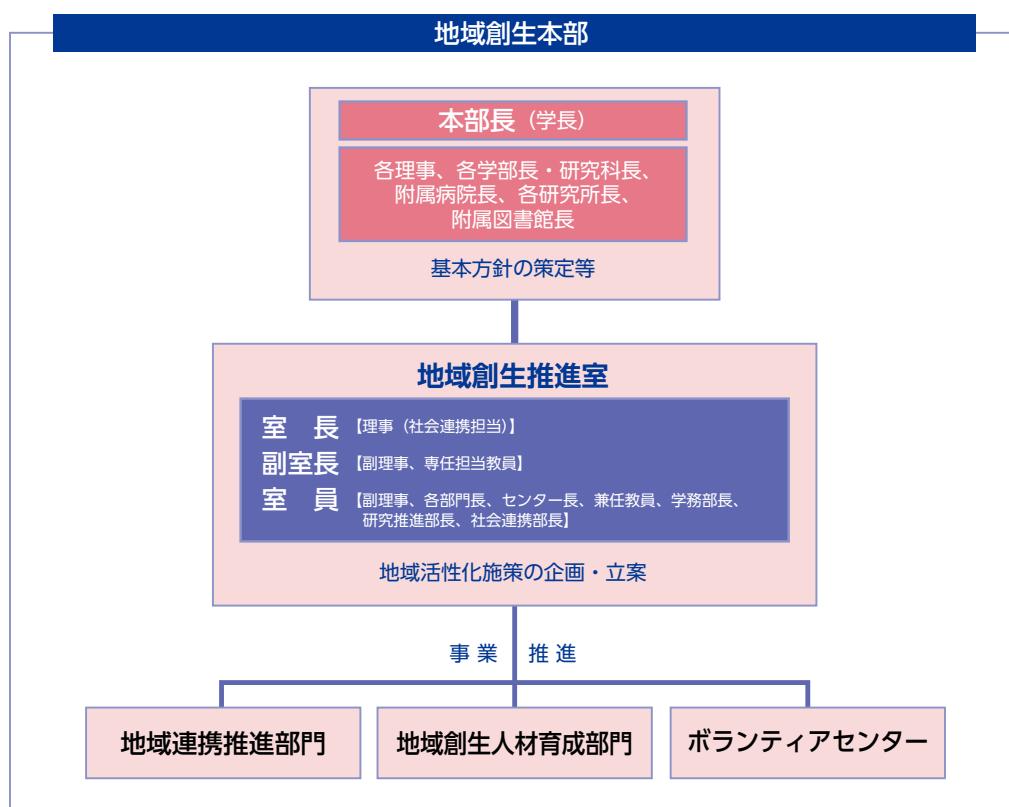
事業を推進する組織として「地域連携推進部門」「地域創生人材育成部門」「ボランティアセンター」があり、県内自治体や金融機関等との包括連携協定の締結、地域課題の解決に向けた連携調査研究事業、地域人材の育成や学生の地元定着に資する取組、ボランティアに関する事業の推進等を実施しています。

こうした活動は青森県内において積極的に展開されており、八戸市に設置した「八戸サテライト」では公開講座や共同研究の相談など地域連携を推進しています。また、むつ市・青森中央学院大学と共同で設置した「むつサテライトキャンパス」や深浦町と共同で設置した「深浦エコサテライトキャンパス」においては滞在型学習や公開講座等の事業を推進しています。

地域創生本部は、設置目的の達成に向けて、本学のあらゆる活動に関わりを持ちつつ、教育・研究活動を通じた地域貢献を果たしていきます。



地域創生本部



機構

教育推進機構

Institute for the Promotion of Higher Education Information

設置時期：2012(平成24)年7月

弘前大学の教育理念と目標に沿い、本学の学士課程教育及び大学院課程教育の充実を図るとともに、教育の質保証及び改善・充実、学生の確保、キャリア形成に係る調査・研究、企画立案及び実施を総合的、全学的に行うこと目的として設置されました。



教養教育開発実践センター

設置時期：2015(平成27)年10月

教養教育開発実践センターは、本学における全学担当制による教養教育に関する企画立案、調整及び教養教育の実施並びに教育内容・授業方法の改善及び広報活動を行うとともに、教養教育に関する自己点検・評価について担当しています。



アドミッションセンター

設置時期：2015(平成27)年10月

アドミッションセンターは、本学の入学者受入方針に応じた優れた入学者を確保するための入学者選抜方法等に関する調査研究・企画立案と、入試広報に関する企画立案・実施を目的としています。「調査研究部門」と「入試広報部門」の2つの部門が置かれ、業務を行っています。



キャリアセンター

設置時期：2016(平成28)年4月

キャリアセンターは、キャリア教育及び就職支援を通して本学学生の進路決定や生涯を通じた持続的な就業力の育成をより円滑に推進することを目的としています。インターンシップ、就職ガイダンス、業界研究会、各種企業説明会、就職相談、求人開拓及び情報収集等、さまざまなキャリア支援を行っています。



数理・データサイエンス教育センター

設置時期：2022(令和4)年4月

数理・データサイエンス教育センターは、本学における数理・データサイエンス・AI教育の普及と関連科目の整備を行うとともに、授業の実施、授業の内容・方法の改善、質保証等について担当しています。



学生特別支援室

設置時期：2016(平成28)年4月

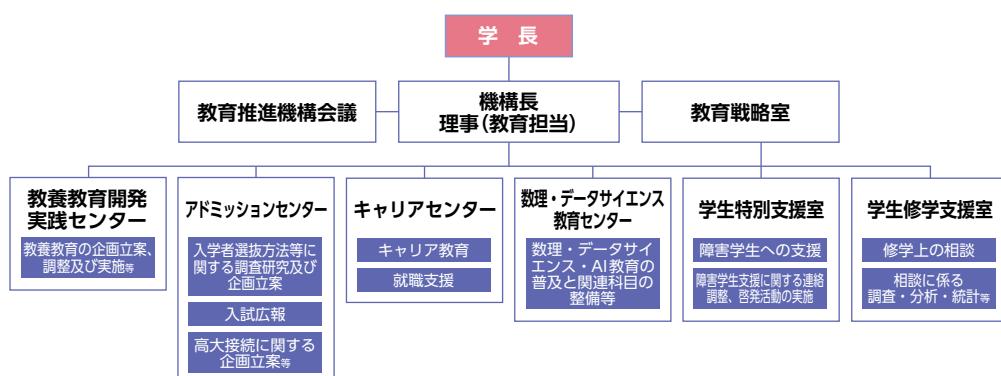
学生特別支援室は、本学における障害のある学生への全学的な支援を推進し、障害のある学生の円滑な学修等に寄与することを目的としています。
障害等による修学・生活上の困難の軽減・解消等の相談に、コーディネーター、カウンセラー等が対応しています。



学生修学支援室

設置時期：2021(令和3)年4月

学生修学支援室は、本学における修学上の課題を抱える学生への全学的な支援を行うことで、学生の円滑な学修等に寄与することを目的としています。修学上の課題を抱える学生に対し、コーディネーターが対応しています。



研究・イノベーション推進機構

Institute for the Promotion of Research and Innovation

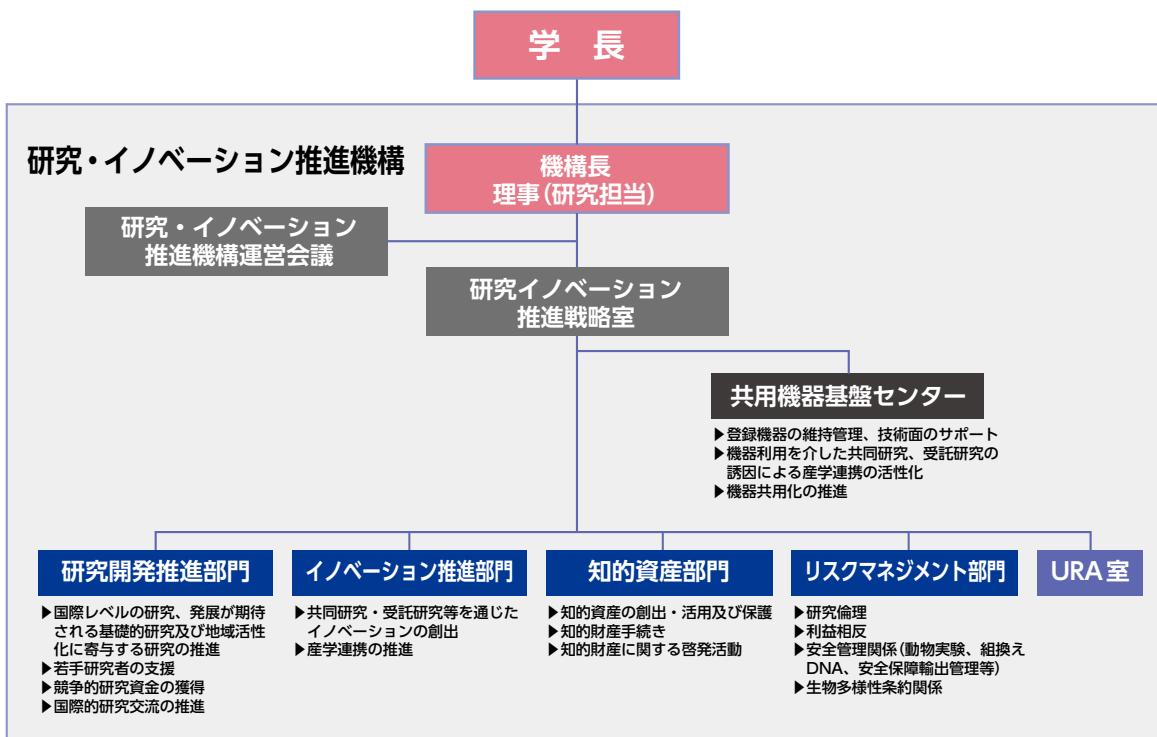
設置時期：2013（平成25）年12月

弘前大学では、基礎的研究及び地域活性化に寄与する研究推進を図ることを研究目標とし、再生可能エネルギー、環境、被ばく医療、食の4テーマを重点分野として位置付け、関連する諸課題を中心とした研究を推進しております。

弘前大学研究・イノベーション推進機構は、本学の理念に基づき、研究、イノベーション及び産学連携を強力に推進するため、平成27年に研究開発推進部門、イノベーション推進部門及び知的資産部門の3部門を設置し、平成30年度には、近年の大学における研究及び産学連携活動におけるリスクマネジメントが重要視されていることを踏まえ、新たにリスクマネジメント部門を設置しました。さらに、平成31年4月には、学内共同教育研究施設の機器分析センターを機能強化して共用機器基盤センターを設置したほか、URAの組織としての位置づけを明確化するためURA室を設置しました。センター及び各部門には、それぞれセンター長及び部門長を置き、学内の教員を充て、教職協働による機構運営を行っています。

また、本機構の運営に関する事項の審議並びに本学の研究活動及びイノベーション創出のための方針・戦略等の企画、立案を行う審議機関として「研究・イノベーション推進機構運営会議」を設置し、機構の重要事項等について審議することとしています。

これまでの産学連携活動に加え、研究活動の目標及び4つの重点分野の研究推進とともに、戦略的研究開発、イノベーションの推進、戦略的知的資産の活用及びリスクマネジメントの管理を行い、本学が目標として掲げる「イノベーションの創出と人材育成」を通じて、地域貢献のさらなる推進を進め、研究活動の活性化に取り組みます。



機構

COI研究推進機構

The Center of Healthy Aging Innovation

設置時期：2013（平成25）年12月

COI研究推進機構は、平成25年に弘前大学が文部科学省・科学技術振興機構（JST）の革新的イノベーション創出プログラム「COI（センター・オブ・イノベーション）STREAM」全国12拠点（令和2年4月現在：18拠点）の一つとして採択されたことで誕生しました。（拠点名「真の社会イノベーションを実現する革新的『健やか力』創造拠点」）。

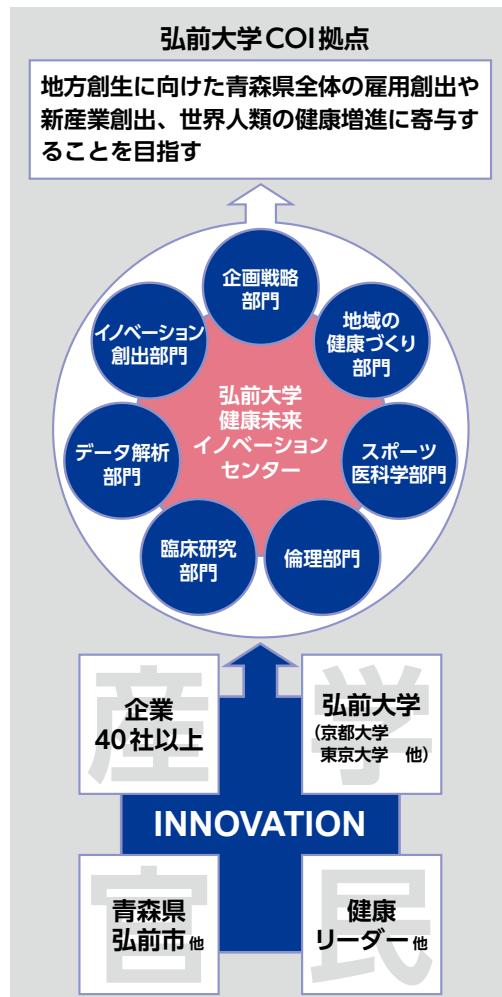
COIとは、“10年後の理想とする社会”（将来像）からバックキャッティング（振り返り）した研究活動を行ない、創出された新しい成果を社会実装させることで大きなイノベーションを起こすために長期間の研究を支援する文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の大型研究開発支援プログラムです。

弘前大学 COIの取組は国の評価において、医療健康分野で平成28年「最高評価S」、平成30年「最高評価S+」、令和3年の最終評価でも「最高評価S+」とすべてのフェーズで最高評価を獲得して、全国的に大きな注目を集めています。

また平成31年には、内閣府主催「日本オープンイノベーション大賞」（産学連携、大企業とベンチャー企業との連携、自治体と企業の連携など、組織の壁を超えて新しい取り組みに挑戦する「オープンイノベーション」の模範的なプロジェクトを政府が表彰）の栄えある第1回、最高賞である「内閣総理大臣賞」を受賞し、大きく評価されています。

弘前大学は青森県の平均寿命が全国最下位であることから、短命県返上を目的に、医学研究科社会医学講座特任教授中路重之が中心となって、平成17年度から弘前市の岩木地区で大規模住民健康調査「岩木健康増進プロジェクト健診」を実施しています。

弘前大学 COIではこの研究を拠点の中心に据え、短命県返上を実現した「人生90年型シティ」をビジョンに、岩木健診で蓄積した2000-3000項目の健康ビッグデータを活用することで、認知症や生活習慣病など病気の疾患予兆法や予兆因子に基づいた予防法、認知症サポートシステムなどの開発を目指しています。



被ばく医療連携推進機構

Radiation Emergency Medicine and Cooperation Promotion

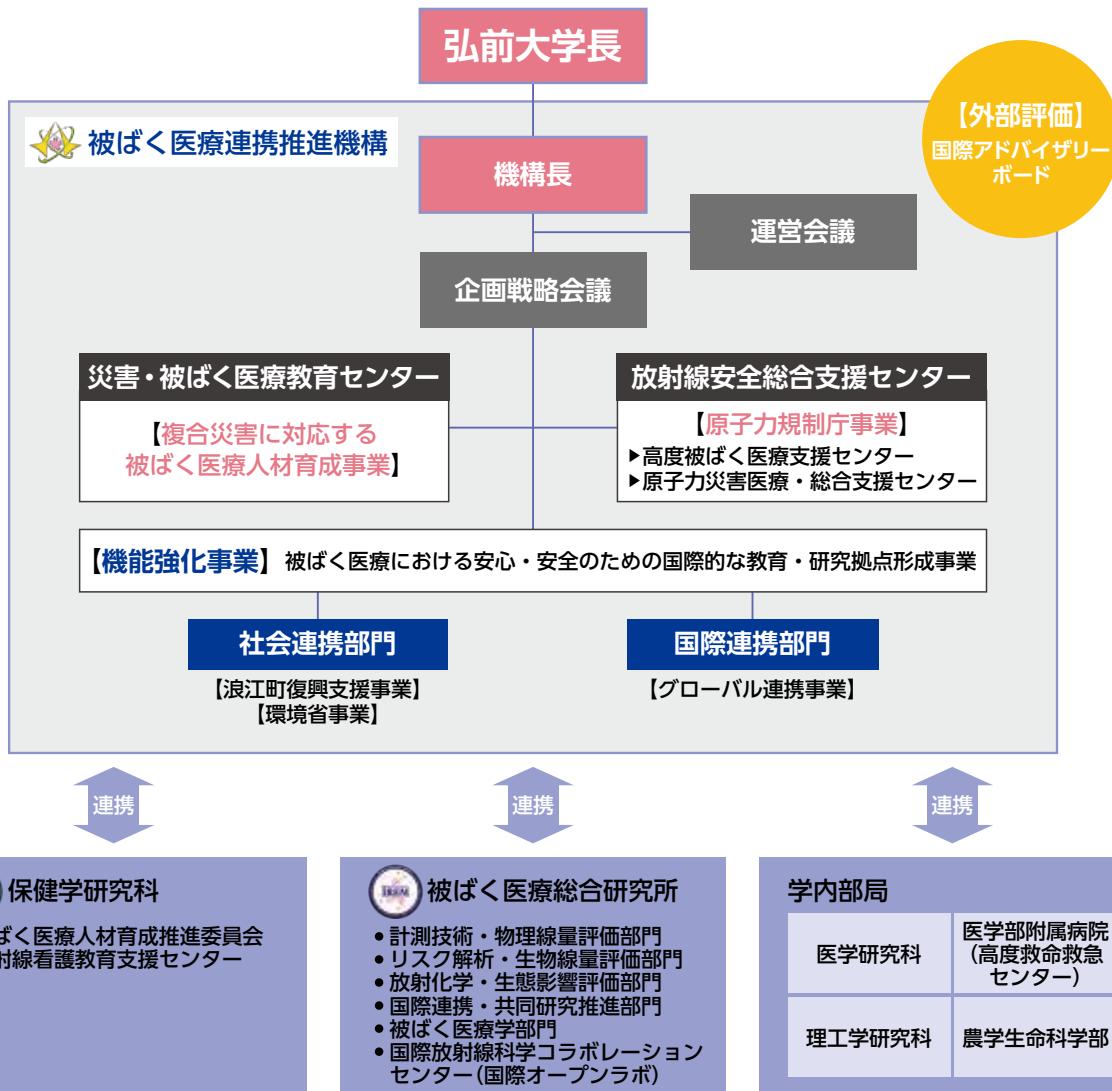
設置時期：2019（令和元）年10月

被ばく医療連携推進機構は、本学の被ばく医療に関する各種事業を分野・組織を超えた連携を組織的、かつ、戦略的に推進することを目的として令和元年10月に設置されました。

本機構は、放射線安全総合支援センター及び災害・被ばく医療教育センター並びに社会連携部門（浪江町・環境省事業担当）、国際連携部門（グローバル連携事業担当）の2センター2部門から構成されています。さらに、被ばく医療総合研究所、医学研究科、保健学研究科、医学部附属病院、理工学研究科、農学生命科学部との連携により、多様な活動を展開しています。

放射線安全総合支援センターは、原子力規制委員会から指定を受けた「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」の活動が主たる取り組みです。また、災害・被ばく医療教育センターは、「複合災害に対応する被ばく医療人材育成事業」の活動が主たる取り組みです。

2部門の活動は、令和4年度からの第4期中期目標・中期計画における自治体・企業等との連携強化による福島県浪江町等の復興支援、地域社会の課題解決への貢献及び放射線関連の教育・研究センターを活用し、世界で活躍できる多様な人材育成などが主たる取り組みです。また、関連する学術活動の情報発信を目的とした英文学術誌「Radiation Environment and Medicine」（弘前大学出版会）の刊行にも取り組んでいます。



(2022年4月1日)

健康未来イノベーション研究機構

Research Institute of Health Innovation

設置時期：2022（令和4）年6月

地域の社会課題を解決し、地域の持つ活力を最大化する新たな地域健康社会システムの構築のため、健康・イノベーション研究戦略の企画・立案、地域及び社会との連携構築、人材育成等を通じて、持続可能な開発目標(SDGs)への貢献を目指した研究活動を推進していきます。また、今後は COI 研究推進機構の事業についても本機構が引き継ぎ取り組んでいきます。

特定プロジェクト教育研究センター

人文社会科学部



地域未来創生センター

Innovative Regional Research Center

センター長：李 永俊 教授

設置時期：2014(平成26)年4月

地域未来創生センターは、地域の諸課題を将来的な視野に立って検討し、その解決方策を組織的に研究することや、地域の文化資源とその有効活用を組織的に調査・研究することをしており、地域社会の発展に貢献することを目的としております。また、地域にまなざしをむけた教育プログラムを開発することにより、地域に貢献できる人材育成にも取り組んでおります。社会貢献活動として、各種イベントによる地域との交流を継続的に行っております。



北日本考古学研究センター

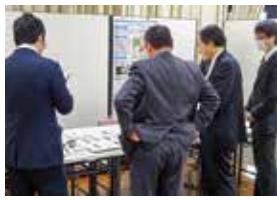
Archaeological Research Center for Northern Japan

センター長：上條 信彦 教授

設置時期：2014(平成26)年4月

北日本に広く分布する縄文遺跡群を中心とする埋蔵文化財の調査発掘・分析・保存等をはじめとして、この地域の考古学・文化財科学に関する教育・研究・社会貢献活動を行い、広く学界に貢献することを目的としています。過去の環境激変期を包括的に究明し、人類社会の未来を構想することや地域社会の活性化に寄与することを目指しています。展示室でのミニ博物館活動や先進的分析法を専門教育に活用することで領域横断型グローバル人材を育成し、文化財の保存処理等を通じて産学官連携による地域資源活用の活性化に取り組んでいます。

保健学研究科



地域保健医療教育研究センター

Center of Education and Research for Community Health Care and Medicine

センター長：丹藤 雄介 教授

設置時期：2005(平成17)年6月

地域保健医療教育研究センターは、増加する高齢者のがん、生活習慣病とその慢性合併症、認知症などに対する医療・介護・福祉・保健分野など多職種での相互補完的な連携体制の構築や大学からの研究成果の社会還元、健康関連のイノベーション創出や人材育成の推進を目的に設立されました。保健学研究科のみならず地域・コミュニーンの活性化に繋がる内容に加えて、学部学生の参加を促し、早期からインター・プロフェッショナルワークが可能となるような枠組みづくりや“地域における保健医療の課題解決”を目的とした活動を推進しています。人と人の交流や協力が重要な活動様式であるだけに新型コロナ感染症の流行に伴い制限される部分もありますが、そういった状況下で地域における多職種の連携体制をさぐるという新たなミッションを得て活動を続けています。



生体応答科学研究センター

Research Center for Biomedical Sciences

センター長：細川 洋一郎 教授

設置時期：2008(平成20)年4月

生体応答科学研究センターの発足理念は、メンバーの横断的な連携により、領域の垣根を超えた研究の推進・向上を図ることを主眼とし、その上で地域貢献や教育の活性化に向けた研究成果を広く世界に向けて発信することです。当センターは、大学院保健学研究科の有志メンバーを中心に2008年に開設され、その後、被ばく医療総合研究所、看護学領域と総合リハビリテーション科学領域の教員も加わり、より領域横断的研究が強化され、さらにストックホルム大学、韓国原子力医科学院、オタゴ大学などの研究者も加え、国際共同研究も広く行われています。現在に至るまで多くの研究業績をみ出し、研究活動を支える研究費の獲得を共同で進め、次代の弘前大学の研究活動を担う若手研究者を育成する国際会議および講演会も積極的に行ってています。

理工学研究科



宇宙物理学研究センター

Cosmophysics Research Center

センター長：浅田 秀樹 教授

設置時期：2022(令和4)年4月

宇宙物理学および関連分野(天文学、素粒子論など)において、「マルチメッセンジャー重力波天文学」、「ブラックホールのような強重力場」および「ダークマター・ダークエネルギー」などの研究が急務となっています。宇宙物理学研究センターは、宇宙物理学分野の教員間の連携を更に高めて、上記の研究を推進させることを目指します。宇宙、そして自然科学に関する若い世代の興味を喚起する目的で、講演会等を開催することによって地域社会にも貢献します。

農学生命科学部



地域資源利活用研究センター

Research Center for the Utilization of Local Resources

センター長：殿内 啓夫 教授

設置時期：2014(平成26)年4月

青森県内に賦存する様々な資源を探索、それらに機能性などの付加価値を見出し、研究成果を地域に還元・産業振興に活用するために、2014年度に農学生命科学部の教員が中心となって設立しました。研究対象とする資源は水産物、農産物、畜産物これらの中間物、微生物などで、これまでに地元企業と共同して地域資源からの製品開発とそのブランド化に取り組んできました。弘前大学白神酵母を用いたりんご酢(カネショウ)・りんごシードル(Kimori, GARUTSU)・清酒(六花酒造、白神酒造)、だぶる黒茶(柏崎製菓)、白神乳酸菌の発酵液を活用したフェイシャルマスクと石鹼(ラビプレ)など様々な製品の開発に成功しています。



弘前大学ロゴマーク

【コンセプト】

弘前市が全国に誇れる「桜」をモチーフにし、5学部の桜の花が集結し、未来に向けひとつ大きな花を開花させるというイメージを図案化。中央にある丸は地球をイメージしており、弘前大学の卒業生がビジネス&研究において優秀な人材として貢献し、世界を飛びまわるという工夫を加えた表現にもしております。また、それぞれのカラーは、5学部のカラーを表現しており、(赤)医学部、(橙)教育学部、(緑)農学生命科学部、(紺)理工学部、(紫)人文社会科学部としています。さらに、地球の周りに桜を散りばめているようなイメージは、人工衛星的なイメージにも見え「地域発信の拠点となる弘前大学」という意味もあります。全体の色味としても現代風のカラフルな色彩にしており、フレッシュ感と躍動感、そして楽しいキャンパスライフという活気に満ちあふれたマークに仕上がっています。

制定日：2006（平成18）年7月24日

役職員等

2022(令和4)年6月1日 現在

役員等		教育研究評議会評議員		農学生命科学部	
学長	福田 真作	学長	福田 真作	学部長	東 信行
理事(企画担当)・副学長	若林 孝一	理事(企画担当)	若林 孝一	附属生物共生教育研究センター長	張 樹槐
理事(総務担当)・副学長・事務局長	岡本 和久	理事(総務担当)	岡本 和久	附属遺伝子実験施設長	坂元 君年
理事(教育担当)・副学長	郡 千寿子	理事(教育担当)	郡 千寿子	附属白神自然環境研究センター長	中村 剛之
理事(研究担当)・副学長	曾我 亨	理事(研究担当)	曾我 亨		
理事(社会連携担当)・副学長	石川 隆洋	理事(社会連携担当)	石川 隆洋		
理事(特命担当)	佐野 輝男	理事(特命担当)	佐野 輝男		
監事	山内 浩	人文社会科学部長	飯島 裕胤		
監事	吉田 房子	教育学部長	福島 裕敏		
学長特別補佐	柏倉 幾郎	農学生命科学部長	東 信行		
学長特別補佐	中路 重之	大学院医学研究科長	廣田 和美		
学長特別補佐	大山 力	大学院保健学研究科長	齋藤 陽子		
副理事	今井 雅	大学院理工学研究科長	岡崎 雅明		
副理事	平野 潔	医学部附属病院長	大山 力		
副理事	杉原かおり	人文社会・教育学系長	飯島 裕胤		
副理事	岩崎 良夫	医学系長	廣田 和美		
副理事	佐々木律成	自然科学系長	東 信行		
副理事	三上 盛一	地域イノベーション学系長	片岡 俊一		
副理事	森 樹男	大学院地域社会研究科長	森 樹男		
		大学院地域共創科学研究科長	片岡 俊一		
学長選考・監察会議		大学院地域共創科学研究科長	片岡 俊一		
経営協議会委員	永澤 弘夫	被ばく医療総合研究所長	床次 真司		
経営協議会委員	今井 高志	地域戦略研究所長	本田 明弘		
経営協議会委員	岡井 真	附属図書館長	羽渕 一代		
経営協議会委員	櫛引 利貞	国際連携本部長	杉原かおり		
経営協議会委員	九戸 真樹	教育学部教授	安川あけみ		
教育研究評議会評議員	若林 孝一	農学生命科学部教授	牛田 千里		
教育研究評議会評議員	郡 千寿子				
教育研究評議会評議員	曾我 亨				
教育研究評議会評議員	飯島 裕胤				
教育研究評議会評議員	廣田 和美				
経営協議会委員					
学長	福田 真作				
理事(企画担当)	若林 孝一				
理事(総務担当)	岡本 和久				
理事(教育担当)	郡 千寿子				
理事(研究担当)	曾我 亨				
理事(社会連携担当)	石川 隆洋				
医学部附属病院長(学長特別補佐)	大山 力				
教育学部教授	安川あけみ				
青森県副知事	青山 祐治				
株式会社銀行代表取締役専務執行役員	稻庭 勉				
株式会社日産サティオ弘前代表取締役社長	今井 高志				
岡井公認会計士事務所所長	岡井 真				
株式会社東奥日報社弘前支社長	木村 宏				
カネショウ株式会社代表取締役社長	櫛引 利貞				
元弘前市教育委員会委員長	九戸 真樹				
弘前商工会議所名誉会頭	永澤 弘夫				
元預金保険機構理事長	三國谷勝範				
大学院医学研究科					
研究科長	廣田 和美				
附属脳神経血管病態研究施設長	今泉 忠淳				
附属高度先進医学研究センター長	伊東 健				
附属動物実験施設長	上野 伸哉				
附属子どものこころの発達研究センター長	中村 和彦				
附属健康未来イノベーションセンター長	三上 達也				
大学院保健学研究科					
研究科長	齋藤 陽子				
医学部附属病院					
病院長	大山 力				
大学院理工学研究科					
研究科長	岡崎 雅明				
附属地震火山観測所長	片岡 俊一				
附属医用システム創造フロンティアセンター長	笹川 和彦				
農学生命科学部					
学部長	東 信行				
附属生物共生教育研究センター長	張 樹槐				
附属遺伝子実験施設長	坂元 君年				
附属白神自然環境研究センター長	中村 剛之				
大学院地域社会研究科					
研究科長	森 樹男				
大学院地域共創科学研究科					
研究科長	片岡 俊一				
附置研究所					
被ばく医療総合研究所長	床次 真司				
地域戦略研究所長	本田 明弘				
学内共同教育研究施設					
保健管理センター所長	佐藤 研				
アイソトープ総合実験室長	床次 真司				
出版会編集長	柏木 明子				
資料館長	浅田 秀樹				
附属図書館・医学部分館					
附属図書館長	羽渕 一代				
医学部分館長	今泉 忠淳				
教育研究院					
人文社会・教育学系長	飯島 裕胤				
医学系長	廣田 和美				
自然科学系長	東 信行				
地域イノベーション学系長	片岡 俊一				
教員養成部門長	福島 裕敏				
本部					
国際連携本部長	杉原かおり				
地域創生本部長	福田 真作				
情報連携統括本部長	若林 孝一				
機構					
教育推進機構長	郡 千寿子				
研究・イノベーション推進機構長	曾我 亨				
COI研究推進機構長	工藤 寿彦				
被ばく医療連携推進機構長	柏倉 幾郎				
健康未来イノベーション研究機構長	村下 公一				
評価室					
室長	若林 孝一				
法人内部監査室					
室長	加藤 恵吉				
男女共同参画推進室					
室長	藤崎 浩幸				
27					

教職員数

2022(令和4)年5月1日 現在

	学長		理事		監事		学長特別補佐		副理事		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
学長・理事・監事等	1		5(1)	1	1	1(1)	3(2)		6(3)	1	16(6)	3(1)	19(7)

()は非常勤で内数 ※学長特別補佐、副理事については併任の者を含む

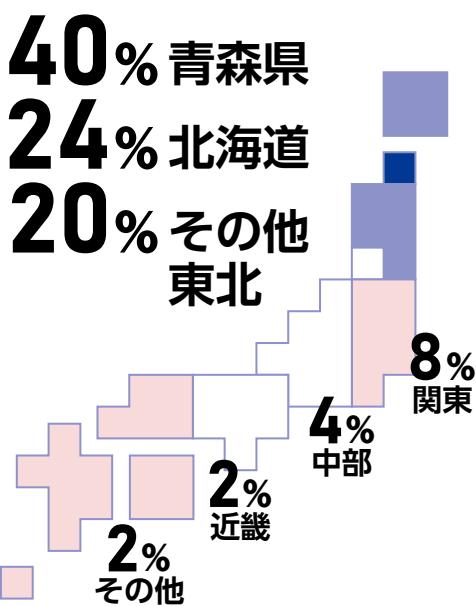
区分	教授		准教授		講師		助教		助手		附属学校教員		計		事務職員 技術職員等		合計		総計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
現員	193	27	163	38	66	13	160	66	44	21	41	50	667	215	372	780	1,039	995	2,034
事務局													0	0	118	50	118	50	168
人文社会科学部	18	6	27	5	1		7	3					53	14	4	6	57	20	77
教育学部	30	5	25	9	6	3	7	2			41	50	109	69	6	9	115	78	193
大学院医学研究科	39	2	27	4	18	2	56	22	17	4			157	34	14	5	171	39	210
大学院保健学研究科	21	11	7	7	6	4	14	15	2	3			50	40	7	5	57	45	102
医学部附属病院			8	1	31	3	44	16	24	14			107	34	180	675	287	709	996
大学院理工学研究科	43	1	30	3	3		14	1	1				91	5	13	10	104	15	119
農学生命科学部	27	2	30	1			12	1					69	4	13	8	82	12	94
大学院地域社会 研究科	3		1										4	0			4	0	4
被ばく医療 総合研究所	3		2					1					5	1	3		8	1	9
地域戦略研究所	6		4					2					10	2	3	1	13	3	16
健康管理センター	1			1		1							1	2		2	1	4	5
アイソトープ 総合実験室													0	0	1	1	1	1	2
附属図書館													0	0	7	6	7	6	13
国際連携本部			1	3				1					1	4	3	2	4	6	10
地域創生本部				1			1						1	1			1	1	2
教育推進機構			1	3	1		4	1					6	4			6	4	10
COI研究推進機構	1												1	0			1	0	1
被ばく医療 連携推進機構	1						1						2	0			2	0	2
男女共同参画推進室								1					0	1			0	1	1

※事務局には法人内部監査室の事務職員を含む。

※人文社会科学部には人文・地域研究科の事務職員を含む。

入学志願者数

	学 部	学科・課程	入学定員	入学志願者				入学者数			
				男	女	計	倍率	男	女	計	
学 部	人文社会科学部		265	483	423	906	3.42	120	163	283	
	教育学部		160	300	411	711	4.44	62	106	168	
	医学部	医学科	112	256	220	476	4.25	59	53	112	
		保健学科	200	238	505	743	3.72	61	141	202	
		心理支援科学科	10	8	19	27	2.70	2	9	11	
		小計	322	502	744	1,246	3.87	122	203	325	
	理工学部		360	1,212	211	1,423	3.95	325	41	366	
	農学生命科学部		215	386	266	652	3.03	150	77	227	
	計		1,322	2,883	2,055	4,938	3.74	779	590	1,369	
大学院	人文社会科学研究科	修士課程	16	9	11	20	1.25	8	8	16	
	教育学研究科	専門職学位課程	18	12	9	21	1.17	10	8	18	
	医学研究科	博士課程	60	35	23	58	0.97	35	23	58	
	保健学研究科	博士前期課程	30	22	17	39	1.30	19	14	33	
		博士後期課程	12	11	8	19	1.58	8	5	13	
	理工学研究科	博士前期課程	120	124	13	137	1.14	111	12	123	
		博士後期課程	12	4	2	6	0.50	4	1	5	
	農学生命科学研究科	修士課程	50	33	18	51	1.02	32	14	46	
	地域社会研究科	博士後期課程	6	8	2	10	1.67	5	2	7	
	地域共創科学研究科	修士課程	30	21	14	35	1.17	20	13	33	
	計		354	279	117	396	1.12	252	100	352	
2年次編入学	医学部	医学科	20	168	83	251	12.55	11	9	20	
3年次編入学 *は、定員外の募集人員を表す	医学部	保健学科	30	1	5	6	0.20	0	2	2	
	理工学部		10	39	6	45	4.50	9	2	11	
	農学生命科学部		* 若干名	14	10	24		0	3	3	



入学者の出身地

区分	入学者数	出身地							私費外国人留学生
		北海道	青森県	その他東北	関東	中部	近畿	その他	
医学部	283	73	122	65	9	8	1	5	3
	168	19	86	42	14	5	1	1	0
	112	3	43	13	30	13	7	3	0
	202	54	75	56	7	6	1	3	0
	11	0	6	2	0	0	2	1	0
理工学部	325	57	124	71	37	19	10	7	0
	366	116	139	55	27	15	8	6	0
	227	59	74	38	31	9	10	6	1
	計	1,369	324	545	271	118	56	30	4

※「その他」には、私費外国人留学生4名を含む。

学部学生数

2022(令和4)年5月1日 現在

学部	学科・課程	入学定員	第2年次編入	第3年次編入	収容定員	現 員																				
						1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			6年次			総計		
						男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人文社会科学部	文化創生課程	110			440	39	76	115	34	85	119	48	69	117	49	90	139							170	320	490
	社会経営課程	155			620	82	87	169	81	84	165	99	69	168	99	95	194							361	335	696
	計	265			1,060	121	163	284	115	169	284	147	138	285	148	185	333							531	655	1,186
人文学部	人間文化課程							-			-			-	0	0	0							0	0	0
	現代社会課程							-			-			-	0	1	1							0	1	1
	経済経営課程							-			-			-	2	0	2							2	0	2
	計				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3				2	1	3		
教育学部	学校教育教員養成課程	140			570	62	84	146	52	91	143	69	81	150	84	93	177							267	349	616
	養護教諭養成課程	20			80	0	22	22	0	22	22	0	22	22	0	22	22							0	88	88
	生涯教育課程							-			-			-	2	0	2							2	0	2
	計	160			650	62	106	168	52	113	165	69	103	172	86	115	201							269	437	706
医学部	医学科	112	20		772	61	55	116	94	56	150	76	48	124	70	63	133	77	72	149	70	61	131	448	355	803
	保健学科	200		30	860	61	141	202	58	150	208	68	137	205	65	145	210							252	573	825
	心理支援学科	10		30	2	9	11	3	8	11	4	6	10				-							9	23	32
	計	322	20	30	1,662	124	205	329	155	214	369	148	191	339	135	208	343	77	72	149	70	61	131	709	951	1,660
理工学部	数物科学科	78		2	316	72	8	80	71	7	78	76	7	83	70	9	79							289	31	320
	物質創成化学科	52		1	210	41	12	53	35	16	51	41	12	53	47	18	65							164	58	222
	地球環境防災学科	65		2	264	55	10	65	48	18	66	51	14	65	60	14	74							214	56	270
	電子情報工学科	55		2	224	54	4	58	54	4	58	59	2	61	53	10	63							220	20	240
	機械科学科	80		2	324	77	3	80	74	8	82	74	7	81	81	8	89							306	26	332
	自然エネルギー学科	30		1	122	26	4	30	27	3	30	28	5	33	23	7	30							104	19	123
	地球環境学科							-			-			-	1	0	1							1	0	1
	知能機械工学科							-			-			-	1	0	1							1	0	1
	計	360		10	1,460	325	41	366	309	56	365	329	47	376	336	66	402							1,299	210	1,509
農学生命科学部	生物学科	40			160	36	8	44	27	17	44	30	13	43	35	12	47							128	50	178
	分子生命科学科	40			160	21	21	42	16	25	41	21	18	39	23	25	48							81	89	170
	食料資源学科	55			220	37	20	57	19	34	53	23	34	57	32	28	60							111	116	227
	国際園芸農学科	50			200	31	21	52	27	21	48	28	25	53	34	23	57							120	90	210
	地域環境工学科	30			120	25	7	32	25	6	31	23	8	31	32	4	36							105	25	130
	計	215			860	150	77	227	114	103	217	125	98	223	156	92	248							545	370	915
合 計		1,322	20	40	5,692	782	592	1,374	745	655	1,400	818	577	1,395	863	667	1,530	77	72	149	70	61	131	3,355	2,624	5,979

大学院学生数

2022(令和4)年5月1日 現在

研究科	課程	専攻	入学定員	収容定員	現員												
					1年次			2年次			3年次			4年次			総計
					男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男
人文社会科学研究科	修士	人文社会科学専攻	16	32	9	12	21	11	9	20							20
		文化科学専攻			/	/	-	2	3	5							2
		応用社会科学専攻			/	/	-	0	1	1							0
		計	16	32	9	12	21	13	13	26							22
教育学研究科	修士	学校教育専攻			/	/	-	1	1	2							1
	専門職学位	教職実践専攻	18	36	10	8	18	12	8	20							22
医学研究科	博士	医科学専攻	60	240	40	26	66	42	25	67	34	12	46	74	35	109	190
保健学研究科	博士前期	保健学専攻	30	60	19	14	33	24	17	41							43
	博士後期	保健学専攻	12	36	8	5	13	10	3	13	17	12	29				35
理工学研究科	博士前期	理工学専攻	120	240	111	12	123	118	10	128							229
	博士後期	機能創成科学専攻	6	18	1	0	1	1	1	2	2	0	2				4
		安全システム工学専攻	6	18	4	4	8	8	1	9	5	5	10				17
		計	12	36	5	4	9	9	2	11	7	5	12				21
農学生命科学研究科	修士	農学生命科学専攻	50	100	32	14	46	26	18	44							58
地域共創科学研究科	修士	地域リノベーション専攻	15	30	10	7	17	7	8	15							17
		産業創成科学専攻	15	30	10	6	16	6	9	15							16
		計	30	60	20	13	33	13	17	30							33
地域社会研究科	博士後期	地域社会専攻	6	18	5	2	7	5	0	5	13	14	27				23
合 計			354	858	259	110	369	273	114	387	71	43	114	74	35	109	677

岩手大学大学院連合農学研究科（博士後期課程）

※現員は弘前大学（指導教員）に属する学生数 2022(令和4)年5月1日 現在

研究科	課程	入学定員	収容定員	現員												
				1年次			2年次			3年次			4年次			総計
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男
連合農学研究科	博士後期	24	72	8	2	10	8	2	10	6	3	9				22

教育学部附属学校

2022(令和4)年5月1日 現在

区分	総定員	学級数	現員														
			1年次			2年次			3年次			4年次			6年次		
年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	日	年		
附属幼稚園	90	4	(3才児)	10		(4才児)	17		(5才児)	18							45
附属小学校	572	19	71		68	84		101	89		79						492
附属中学校	421	13	128		125	164											417
附属特別支援学校	小学部	18	3	(低学年) 6			(中学年) 5			(高学年) 6							17
	中学部	18	3	4		6	6										16
	高等部	24	3	8		4	7										19
合 計			1,143													1,006	

学部卒業者数

学 部	令和3年度	累 計
人文社会学部	255	748
人文学部	3	13,517
教育学部	4年課程	170
	2年課程	1,613
	計	170
医学部医学科	145	6,626
医学部保健学科	206	3,733
理学部		5,112
理工学部	351	6,216
農学部		4,541
農学生命科学部	210	3,932
文理学部		1,392
合計	1,340	65,632

※文理学部……昭和40年4月 人文学部、理学部に改組
 ※理学部・農学部…平成9年10月 理工学部、農学生命科学部に改組

大学院研究科修了者数

研究科		令和3年度	累 計
人文科学研究科	修士課程		111
人文社会学研究科	修士課程	12	288
教育学研究科	修士課程	4	781
	専門職学位課程	12	62
医学研究科	博士課程	44	2,205
医学系研究科	修士課程		54
	博士前期課程	28	364
保健学研究科	博士後期課程	11	116
	修士課程		844
理学研究科	修士課程		153
	博士前期課程	98	1,566
理工学研究科	博士後期課程	10	100
	修士課程		435
農学研究科	修士課程	42	860
農学生命科学研究科	修士課程		52
地域社会研究科	博士後期課程	4	20
地域共創科学研究科	修士課程		285
合計			8,011

※人文科学研究科(修士課程)……平成11年4月 人文社会学研究科(修士課程)に改組
 ※医学系研究科(修士、博士課程)…平成17年4月～平成19年3月まで設置
 ※理学研究科(修士課程)……平成14年4月 理工学研究科(修士課程)に改組
 ※農学研究科(修士課程)……平成14年4月 農学生命科学研究科(修士課程)に改組
 ※理工学研究科(修士課程)……平成16年4月 理工学研究科(博士前期課程)に改組

専攻科

区 分	1960(昭和35)～ 1998(平成10)年度 合計
人文学専攻科(平成11年3月廃止)	41
教育専攻科 (平成 6 年 3 月廃止)	100
理学専攻科 (昭和53年3月廃止)	70
農学専攻科 (昭和46年3月廃止)	28

医療技術短期大学部

区 分	1975(昭和50)～ 2003(平成15)年度 合計
学科 (平成 16 年 3 月廃止)	4,615
専攻科(平成 16 年 3 月廃止)	548

学位授与者数

修士

専攻分野	令和3年度	累 計
文 学		111
人文社会科学	12	288
教育学	4	781
教職修士(専門職)	12	62
看護学又は保健学	28	418
理 学		844
理工学	98	1,719
農 学		435
農学生命科学	42	860
地域共創社会学、地域共創工学、 地域共創農学又は地域共創経営学	20	20
合 計	216	5,538

博士

専攻分野	課程修了		論文審査		旧 制
	令和3年度	累 計	令和3年度	累 計	累 計
医 学	44	2,205	1	890	469
保健学	11	116	0	3	
理学又は工学	10	100	0	4	
学 術	4	52	1	7	
合 計	69	2,473	2	904	469

卒業・修了者 進路状況(2021(令和3)年度)

2022(令和4)年5月1日 現在

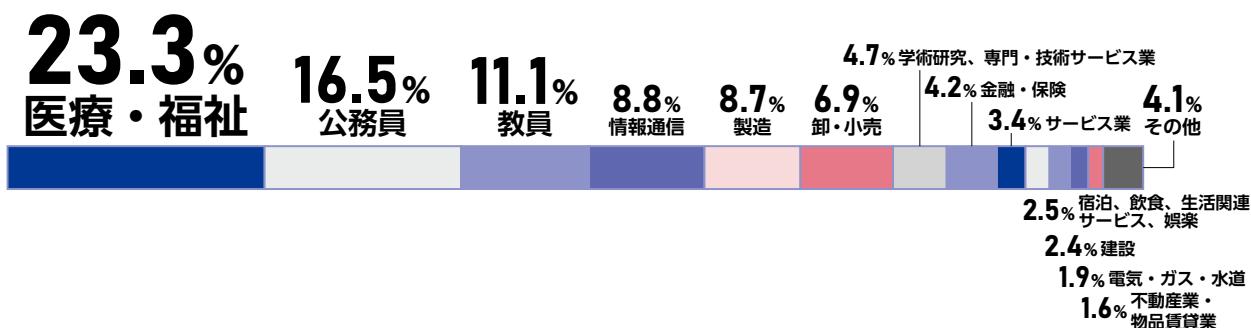
	区分	卒業者数 修了者数			就職希望者数 (A)			就職者数 (B)			就職率 (B/A) (%)			未就職者数			進学者数			臨床研修医数			その他		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学部	人文社会科学部 (人文学部を含む)	121	137	258	95	126	221	92	119	211	96.8	94.4	95.5	3	7	10	6	4	10	0	0	0	20	7	27
	教育学部	66	104	170	45	88	133	45	87	132	100.0	98.9	99.2	0	1	1	9	8	17	0	0	0	12	8	20
	医学部医学科	94	51	145	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	81	48	129	13	3	16
	医学部保健学科	65	141	206	52	126	178	52	126	178	100.0	100.0	100.0	0	0	0	9	8	17	0	0	0	4	7	11
	理工学部	291	60	351	141	38	179	138	37	175	97.9	97.4	97.8	3	1	4	129	20	149	0	0	0	21	2	23
	農学生命科学部	125	85	210	76	60	136	75	60	135	98.7	100.0	99.3	1	0	1	36	18	54	0	0	0	13	7	20
	計	762	578	1,340	409	438	847	402	429	831	98.3	97.9	98.1	7	9	16	189	58	247	81	48	129	83	34	117
大学院	人文社会科学研究科	6	6	12	1	2	3	1	2	3	100.0	100.0	100.0	0	0	0	3	1	4	0	0	0	2	3	5
	教育学研究科	10	6	16	9	4	13	9	4	13	100.0	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
	医学研究科	31	13	44	31	13	44	31	13	44	100.0	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保健学研究科 (博士前期)	21	7	28	16	4	20	16	4	20	100.0	100.0	100.0	0	0	0	5	3	8	0	0	0	0	0	0
	保健学研究科 (博士後期)	10	1	11	10	1	11	10	1	11	100.0	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理工学研究科 (博士前期)	85	13	98	78	12	90	78	12	90	100.0	100.0	100.0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	3	1	4
	理工学研究科 (博士後期)	7	3	10	4	2	6	4	2	6	100.0	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4
	農学生命科学研究科	31	11	42	21	8	29	21	8	29	100.0	100.0	100.0	0	0	0	7	1	8	0	0	0	3	2	5
	地域共創科学研究科	11	9	20	5	4	9	5	3	8	100.0	75.0	88.9	0	1	1	1	3	4	0	0	0	5	2	7
	地域社会研究科	4	0	4	2	0	2	2	0	2	100.0	-	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	計	216	69	285	177	50	227	177	49	226	100.0	98.0	99.6	0	1	1	20	8	28	0	0	0	19	11	30

学部卒業生 産業別の就職状況(2021(令和3)年度)

2022(令和4)年5月1日 現在

学部	医療・福祉	公務員		学校教育				情報通信	製造	卸・小売	技術サービス業	学術研究・専門・技術サービス業	金融・保険	サービス業	宿泊・飲食・生活関連サービス業	建設	電気・ガス・水道	物品販賣業・不動産業	その他産業	計		
		国家公務	地方公務	小学校	中学校	高等学校	※教員その他															
人文社会科学部 (人文学部を含む)	6	16	46	0	0	2	0	3	26	14	21	13	25	13	9	3	3	5	6	211		
教育学部	11	2	10	41	21	5	12	1	5	3	6	2	5	0	3	0	0	2	3	132		
医学部保健学科	176	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	178	
理工学部	1	14	19	0	6	5	0	1	37	31	11	6	3	10	4	8	11	5	3	175		
農学生命科学部	0	7	23	0	0	0	0	1	4	24	19	18	2	4	5	9	2	1	16	135		
計	194	39	98	41	27	12	12	6	73	72	57	39	35	28	21	20	16	13	28	831		

※教員その他は幼稚園、幼保連携認定こども園、特別支援学校、中等教育学校、高等専門学校、大学等の教員数



外国人留学生数

2022(令和4)年5月1日 現在

		国・地域名																	
区分		学部等																	
		中国	大韓民国	タイ	マレーシア	イングランド	ベトナム	バンコク	イタリア	ケニア	インド	モンゴル	チリ	ブルガリア	台湾	ドイツ	ロシア	計	
学部留学生	私費正規留学生	人文社会科学部	13			3		2										18	
		医学部医学科	1															1	
		理工学部	5			1												6	
		農学生命科学部	3	2		1												6	
	私費研究生	人文社会科学部	8															8	
		教育学部	2															2	
		医学部保健学科	2															2	
		農学生命科学部	2										1					3	
	特別聴講学生	人文社会科学部		2	4				4					3	2	1	16		
		教育学部	1											1				2	
		農学生命科学部												1				1	
	国費日本語・日本文化研修留学生	人文社会科学部							1			1						2	
		理工学部											1					1	
	国費教員研修留学生	教育学部								1								1	
	国費正規留学生	理工学研究科			1		2											3	
		連合農学研究科							3									3	
	私費正規留学生	人文社会科学研究科	20															20	
		教育学研究科	1															1	
		医学研究科	7															7	
		保健学研究科			3		2	1										6	
		理工学研究科	15															15	
		農学生命科学研究科	4			1			1									6	
		地域共創科学研究科	13							1								14	
		地域社会研究科	5		1													6	
		連合農学研究科	3							1		1						5	
私費研究生	地域共創科学研究科	1															1		
	地域社会研究科	2															2		
	国費研究生	農学生命科学研究科							1									1	
	合 計		108	4	9	6	4	3	7	5	1	1	1	1	5	2	1	159	

大学間交流協定(54大学等)

2022(令和4)年5月1日 現在

国・地域	協定締結先	協定締結日	
北米・南米	アメリカ合衆国	テネシー大学マーチン校	1980年 7月 8日
		メーン州立大学	1997年 6月26日
		サンディエゴ州立大学	2001年 3月19日
		ハワイ大学コミュニティカレッジ	2017年10月30日
	カナダ	サスカチュワントマホウ大学	2001年12月 7日
		マウント・ロイアル大学	2005年 6月 1日
		トンプソン・リバーズ大学	2006年10月19日
	チリ共和国	ラ・フロンテラ大学	2002年 6月25日
	メキシコ合衆国	オアハカ州立自治ベニートファレス大学	2016年 5月13日
	フランス共和国	ポルドー・モンテニュ大学	1994年 1月31日
ヨーロッパ	ロシア連邦	国立極東総合医科大学	1995年12月14日
		ロモノソフモスクワ大学	2000年 9月20日
		イルクーツク大学	2002年 3月20日
	アイルランド共和国	アイルランド環境保護庁	2019年 6月13日
	ルーマニア	ヒッペリオン大学	1998年 9月11日
		アレクサンドル・ヨアン・クザ大学	2020年 3月 9日
	ドイツ連邦共和国	トリア大学	1999年 5月 3日
	ハンガリー共和国	デブレツエン大学	2000年12月22日
	イタリア共和国	カターニア大学	2018年 3月27日
		トリノ大学	2020年11月11日
オセアニア	ニュージーランド	オタゴ大学	2000年 9月20日
		オークランド工科大学	2001年12月12日
東アジア	中華人民共和国	哈爾濱師範大学	1995年 8月 1日
		延辺大学	2000年 8月28日
		鄭州大学	2000年10月12日
		大連理工大学	2009年12月28日
		新疆工程学院	2016年 9月23日
		青島農業大学	2016年12月26日
		太原理工大学	2017年 4月19日
		瀋陽化工大学	2017年11月20日
		中南林業科技大学	2019年 6月 5日
		東北大學	2019年12月 1日
		廣東工業大学	2020年 5月27日
		遼寧石油化工大学	2022年 3月30日
	大韓民国	南ソウル大学校	2001年 6月 1日
		慶北大学校	2001年 7月11日
		釜山大学校	2001年12月12日
		京畿大学校	2002年 9月25日
	台湾	国立高雄大学	2016年11月17日
		開南大学	2016年11月18日
		馬偕醫學院	2017年10月30日
		國立屏東大學	2018年 4月10日
		中國文化大学	2019年 2月19日
東南アジア	タイ王国	チェンマイ大学	2000年11月 2日
		コンケン大学	2008年 5月 6日
		タマサート大学	2017年 4月14日
	マレーシア	トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学	2017年 4月11日
	インドネシア共和国	バンドン工科大学	2017年 5月 2日
		インドネシア原子力厅	2017年10月 3日
	ベトナム社会主義共和国	アンザン大学	2018年 7月 2日
中央アジア	ウズベキスタン共和国	タシュケント国立農科大学	2016年 9月19日
		サマルカンド農業学院	2016年 9月22日
	トルクメニスタン	トルクメニスタン農科大学	2019年 3月28日
アフリカ	アルジェリア民主人民共和国	オラン科学技術大学	2018年 3月 5日

部局間交流協定(41大学等)

2022(令和4)年5月1日 現在

部局	国・地域		協定締結先	協定締結日
人文社会科学部	ヨーロッパ	フィンランド共和国	ヘルシンキ大学ルラリア研究所	2009年 9月 7日
	東アジア	中華人民共和国	北京理工大学外国语学院	2022年 3月12日
教育学部	北米・南米	アメリカ合衆国	サウスカロライナ大学	1994年 7月20日
医学研究科	北米・南米	アメリカ合衆国	テネシー大学保健科学センター	1982年 5月19日
		ジャマイカ	西インド大学	2002年 2月25日
	ヨーロッパ	スロベニア共和国	リュブリヤナ大学医学部	2014年11月28日
	東アジア	中華人民共和国	中国医科大学	2005年10月25日
保健学研究科	北米・南米	アメリカ合衆国	ハワイ大学マノア校看護・歯科衛生学科	2019年 8月29日
	ヨーロッパ	スウェーデン王国	ストックホルム大学放射線防護研究センター	2013年 3月 6日
	東アジア	台湾	台北医学大学看護学部	2019年 9月26日
農学生命科学部	東アジア	中華人民共和国	中国科学院西双版納熱帶植物園	2018年10月29日
			中国瀋陽農業大學園芸學院	2021年 4月26日
		大韓民国	国立江原大学校農業生命科学大学	2018年11月 5日
			国立忠北大学校農業生命環境学部	2018年12月 6日
	東南アジア	台湾	国立中興大学農業自然資源学部	2017年11月15日
			パヤオ大学エネルギー環境学部	2018年 8月 6日
		タイ王国	パヤオ大学経営情報学部	2018年 8月 6日
			アラガッパ大学理学部	2018年 8月 7日
	南アジア	インド	アラガッパ大学人文社会科学部	2018年 8月 7日
			ハジエモハマド・ダネシ科学技術大学(HSTU)農学部	2018年11月24日
地域社会研究科	東アジア	中華人民共和国	中国農業大学国際発展・国際農業学院	2020年 6月 1日
被ばく医療総合研究所	ヨーロッパ	ハンガリー共和国	パンノニア大学工学部放射化学・放射生態学研究所	2013年 3月18日
		フランス共和国	ストラスブル大学物理工学部	2019年10月30日
	東アジア	中華人民共和国	輻射防護研究所	2016年 5月 2日
			蘇州大学放射線医学・防護学部	2018年 5月21日
			中国復旦大学放射医学研究所	2019年 3月12日
			東華理工大学原子力応用技術研究所	2020年 9月14日
		大韓民国	衡陽師範学院物理・電子工学部	2021年 9月30日
			韓国原子力医学院緊急被ばく医療センター	2013年 1月21日
	東南アジア	タイ王国	東南圏原子力医学院	2016年 6月14日
			カセサート大学理学部	2018年 7月11日
		ベトナム社会主義共和国	チュラロンコン大学工学部	2018年12月21日
			ベトナム原子力研究所原子力科学技術研究所	2013年11月22日
			フィリピン共和国	2015年 6月30日
	南アジア	インドネシア共和国	インドネシア原子力炉放射線安全・度量衡技術センター	2021年 6月18日
		インド	マンガロール大学環境放射能総合研究センター	2019年 8月19日
			バングラデシュ原子力委員会ダッカ原子力センター	2018年10月15日
地域戦略研究所	アフリカ	ナイジェリア連邦共和国	アベオクタ連邦農業大学物理学部	2021年 9月30日
	東アジア	中華人民共和国	中国四川大学化学工学院	2016年 6月 8日
			山西大同大学化学・環境工程学院	2019年 5月22日
	東南アジア	インドネシア共和国	スリヴィジャヤ大学数学及び自然科学部	2019年 2月13日



国内機関との連携・協力協定

弘前大学では、地域創生本部が策定した基本方針に基づき、積極的に社会との連携、地域への貢献を進めることとしており、その一環として、自治体、企業等との連携に関する協定を締結しています。また、その他にも生涯学習事業、産学官連携による共同研究など、多様な取組を実施しています。

大学間協定

2022(令和4)年5月1日 現在

	協定締結日	協定締結先	協定事項
自治体	2005年10月 6日	青森県鰐ヶ沢町	産業振興、文化の育成・発展、まちづくり、人材育成、学術、その他
	2006年 9月19日	青森県弘前市	教育、人材育成、文化の育成・振興、産業振興、まちづくり、学術研究、健康・医療・福祉、自然・環境、その他
	2006年11月25日	青森県	人財、教育、研究、産業・雇用、健康、環境・エネルギー、安全・安心、その他
	2007年 5月 7日	青森県青森市	都市交通、自然・環境、産業振興、健康・医療・福祉、教育・文化、その他
	2008年12月22日	青森県西目屋村	教育・人材育成、文化の育成・振興、地域づくり、学術、健康づくり、医療・福祉、弘前大学白神自然観察園、その他
	2011年 9月29日	福島県浪江町	除染を含む環境改善、教育及び人材育成、文化の育成・振興、健康づくり・医療・福祉
	2015年 2月24日	青森県教育委員会	学校教育の充実・振興・社会教育・スポーツの振興、文化・芸術活動・文化財の保護と活用
	2015年 5月15日	青森県深浦町	地域産業の振興、文化の育成・発展、地域づくり、学術、地域人材の育成、その他
	2015年 6月12日	青森県藤崎町	地域産業の振興、文化の向上・発展、地域づくり、学術研究、地域人材の育成、地方創生、その他
	2015年 7月 7日	青森県むつ市	地域産業の振興、文化の向上・発展、地域づくり、学術研究、地域人材の育成、地方創生、その他
	2016年 6月17日	青森県平川市	地域産業の振興、地域文化の振興、健康づくり、ひとづくり・人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2017年 5月15日	青森県板柳町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2018年 7月19日	青森県田子町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2018年12月26日	青森県南部町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2019年 6月27日	青森県蓮田村	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2020年 7月21日	青森県東通村	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2021年 6月28日	青森県階上町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2021年 7月15日	青森県三戸町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2022年 4月25日	青森県黒石市	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
その他企業等	2007年 4月25日	株式会社青森銀行	地域文化・地域産業の発展・地域の課題に関する情報交換・新技術・新規事業分野・事業化(大学発ベンチャー等)、教育・人材育成・生涯学習・地域経済研究、その他
	2007年 6月25日	株式会社みちのく銀行	地域経済活性化に関する情報交換及び支援、大学の研究成果等に関する情報交換及び支援、地域企業の研究開発ニーズ等の紹介支援、大学発ベンチャー企業に関する情報交換及び支援、その他
	2007年 8月 7日	サンスター株式会社	共同研究テーマの検討とこれに伴う研究者の交流、連絡協議会の開催、その他研究者の交流
	2009年 9月28日	地方独立行政法人青森県産業技術センター	人文科学、社会科学、自然科学の各分野及び研究者等交流
	2012年12月 6日	弘前商工会議所	地場産業の振興、地域活性化、地域支援、産学連携、地域人材の育成
	2013年 7月 2日	青森商工会議所	地域産業の振興、地域活性化(中心市街地活性化等)、産学連携、健康福祉の増進、人材の育成、その他
	2015年11月26日	青森県内8大学1高専、5自治体	「地(知)」の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)に係る連携・協力
	2016年 7月14日	北東北3大学、3銀行 (秋田大学、岩手大学、弘前大学) (秋田銀行、岩手銀行、青森銀行)	北東北三大学三銀行提携事業「地域TLOネットピックスプラス」の運営による包括提携
	2016年 7月21日	株式会社日本政策金融公庫	地域産業の振興、地方創生、地域振興に資する人材の育成、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2017年10月 4日	東奥信用金庫	地域経済の活性化、地域中小企業のニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2017年10月17日	青い森信用金庫	地域経済の活性化、地域中小企業のニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2018年 1月11日	青森県信用組合	地域経済の活性化、地域中小企業のニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2018年 3月 5日	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構	職員・学生等の交流、連携大学院教育、研究情報等の交換、施設及び設備の共同利用、共同研究、被ばく医療
	2019年 3月31日	福島県立医科大学 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 広島大学、長崎大学	線量評価、特に内部線量評価、人材育成及び人材交流、患者診療、その他
	2019年11月28日	株式会社商工組合中央金庫	地域経済活性化、地域中小企業の研究開発ニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2020年10月30日	公益財団法人環境科学技術研究所	教員及び学生の相互交流、研究資料・刊行物及び研究情報の交換等、施設及び設備の共同利用、共同研究プロジェクト、その他
	2022年 4月 7日	青森県信用保証協会	地域経済活性化、地域中小企業の研究開発ニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2022年 4月11日	農林中央金庫青森支店	地域経済活性化、地域中小企業の研究開発ニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
大学	2002年 5月22日	北東北国立3大学	単位互換に関する協定
	2003年 3月 6日	弘前学院大学	単位互換に関する協定
	2010年11月18日	放送大学	単位互換に関する協定
	2013年 4月25日	東北地区7国立大学法人	災害時連携協定
	2018年10月 4日	独立行政法人国立病院機構 弘前市、青森県	津軽地域保健医療圏における新中核病院の整備及び運営に係る基本協定
	2021年 3月17日	宇都宮大学、東京外国语大学、長崎大学	多文化共生教育推進のための情報交換、支援・協力、実施、その他

部局間協定

2022(令和4)年5月1日 現在

部局名	協定締結日	協定締結先	協定の形態等
人文社会科学部	2016年 5月24日	特定非営利活動法人青森県消費者協会	連携協力協定
	2017年 4月13日	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	連携協力協定
	2017年 5月22日	一般社団法人GAP普及推進機構	連携協力協定
	2017年 5月30日	青森県社会保険労務士会	連携協力協定
	2019年 3月29日	国立大学法人名古屋大学大学院人文学研究科	連携協力協定
	2020年 2月21日	大学共同利用法人人間文化機構国立国語研究所	連携協力協定
	2020年 3月 3日	国立大学法人三重大学人文学部 国立大学法人島根大学法文学部	連携協力協定
	2020年12月24日	宮城県栗原市教育委員会	連携協力協定
教育学部	2008年 1月29日	むつ市教育委員会	連携協力協定
	2008年 2月 7日	青森県教育委員会	連携協力協定
	2008年11月26日	黒石市教育委員会	教員を目指す学生による教育活動支援
	2012年 1月27日	弘前市教育委員会	連携協力協定
	2015年 3月25日	黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町・ 田舎館村教育委員会	連携協力協定
	2017年 7月15日	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国文学研究資料館・ 弘前市教育委員会・青森県立郷土館・人文社会科学部	「津軽デジタル風土記の構築」プロジェクトの推進
	2020年 8月 6日	西目屋村教育委員会	連携協力協定
医学研究科	2005年 4月 1日	弘前市(2005年は岩木町)	「岩木健康増進プロジェクト」事業実施協定
	2013年11月14日	弘前市教育委員会	連携協力協定
	2015年 3月25日	黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町 田舎館村教育委員会	連携協力協定
	2015年 8月 1日	名城大学総合研究所	学術研究交流協定
	2016年 4月 1日	弘前市	「いきいき健診」事業実施協定
	2020年11月 9日	弘前市	健康増進に関する連携協力協定
理工学研究科	2011年10月20日	八戸工業高等専門学校・岩手大学工学部 一関工業高等専門学校	学術交流協定
	2016年 3月10日	函館工業高等専門学校	学術交流協定
	2020年 1月10日	東北大学学術資源研究公開センター	連携協力協定
医学部附属病院	2015年10月 5日	株式会社ローソン	災害時における物資の調達に関する協定
	2018年 3月30日	弘前ガス株式会社	災害発生時等におけるガス優先供給に関する協定
被ばく医療総合研究所	2017年12月22日	福島大学環境放射能研究所	連携協力協定
地域戦略研究所	2014年 3月27日	むつ市	連携協力協定(旧新エネ研にて締結)
	2014年 7月22日	深浦町	連携協力協定(旧食料研にて締結)
	2014年12月15日	深浦町、株式会社オカムラ食品工業	サーモン養殖実証事業に関する三者連携協定(旧食料研にて締結)
	2015年 1月15日	むつ市	連携協力協定(旧食料研にて締結)
	2015年11月10日	学校法人野又学園函館短期大学 付設調理製菓専門学校	連携・協力に関する協定(旧食料研にて締結)
	2016年 1月28日	函館短期大学付設調理製菓専門学校、 株式会社fun function	「北日本食の成長戦略」実現に向けた三者連携(旧食料研にて締結)
	2017年 7月20日	株式会社みちのく銀行	新エネルギー分野における連携・協力に関する協定(旧新エネ研にて締結)
	2017年 9月26日	むつ市、中部電力株式会社	むつ市燧岳地域地熱資源開発のための調査事業に関する連携協定
	2019年 2月22日	長崎大学海洋未来イノベーション機構	連携協力協定



青森県三戸郡階上町



青森県三戸郡三戸町



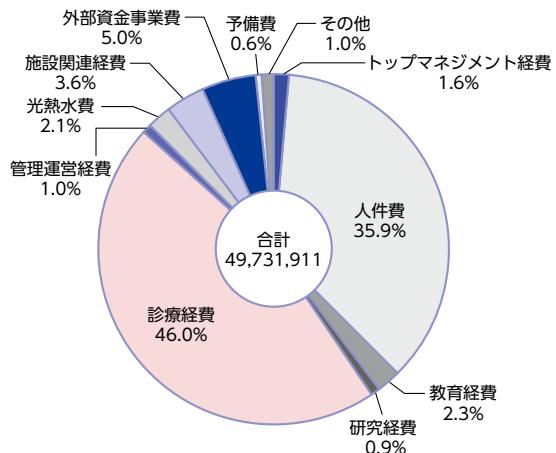
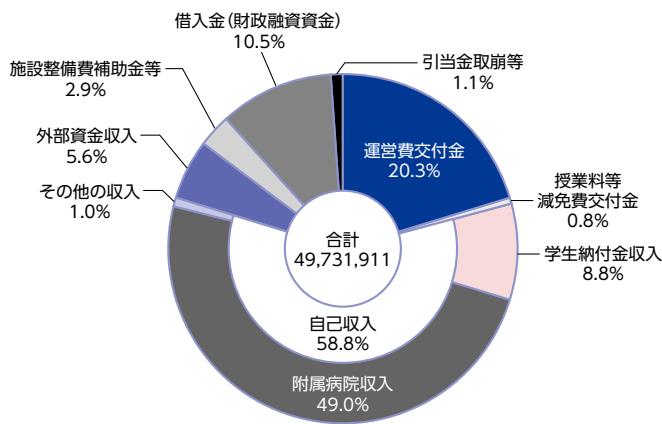
青森県黒石市

収入 (2022(令和4)年度) 単位:千円

区分	収入額
運営費交付金	10,089,681
授業料等減免交付金	384,474
自己収入	29,225,280
学生納付金収入	4,386,120
附属病院収入	24,352,657
その他の収入	486,503
外部資金収入	2,804,961
施設整備費補助金等	1,462,952
借入金(財政融資資金)	5,235,562
引当金取崩等	529,001
合計	49,731,911

支出 (2022(令和4)年度) 単位:千円

区分	支出額
トップマネジメント経費	801,527
人件費	17,825,025
教育経費	1,145,893
研究経費	448,295
診療経費	22,867,965
管理運営経費	493,925
光热水費	1,061,222
施設関連経費	1,803,294
外部資金事業費	2,505,981
予備費	300,000
その他	478,784
合計	49,731,911



科学研究費助成事業 (2022(令和4)年度) 単位:千円

研究種目	件数	配分額		
		直接経費	間接経費	計
学術変革領域研究(A・B)	0	0	0	0
新学術領域研究	2	4,300	1,290	5,590
基盤研究(S)	0	0	0	0
基盤研究(A)	4	19,500	5,850	25,350
基盤研究(B)	50	186,400	55,920	242,320
基盤研究(C)	233	217,600	65,280	282,880
挑戦的研究(開拓・萌芽)	9	16,100	4,830	20,930
若手研究(B)	0	0	0	0
若手研究	96	94,050	28,215	122,265
研究活動スタート支援	3	3,500	1,050	4,550
国際共同研究強化(B)	0	0	0	0
合計	397	541,450	162,435	703,885

*件数及び金額は、本学に交付内定通知があったもの。(令和4年4月現在)

*基金種目の継続課題については、令和4年度支払請求額を計上した。

*挑戦的研究、基盤研究(S)、学術変革領域研究(A・B)、研究活動スタート支援、国際共同研究強化(B)は令和4年6月以降に内定が出るため、継続分のみを計上している。



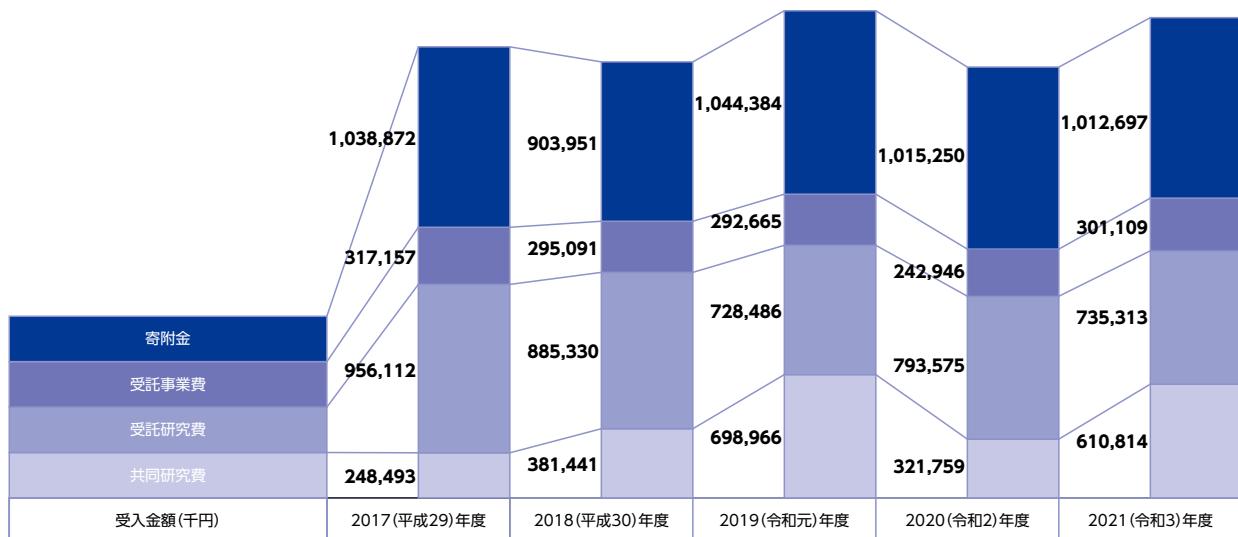
外部資金受入状況 (2021(令和3)年度)

部局等	共同研究費		受託研究費		受託事業費		寄附金	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
人文社会科学部	4	772	5	13,280	1	500	7	5,200
教育学部	3	143	2	3,035	9	20,538	8	3,209
医学研究科	48	469,910	30	367,570	2,390	112,590	458	711,006
保健学研究科	4	4,200	3	14,662	3	1,356	21	9,132
医学部附属病院	2	1,000	81	161,324	53	63,020	60	43,851
理工学研究科	42	101,363	23	76,610	4	2,680	16	16,818
農学生命科学部	42	25,181	21	64,068	2	1,279	18	14,446
地域社会研究科	6	5,478	2	4,035	1	1,000	-	-
被ばく医療総合研究所	2	2,767	2	3,220	2	22,665	1	450
地域戦略研究所	3	0	3	6,277	1	40	8	26,262
附属図書館	-	-	-	-	-	-	3	1,250
事務局	-	-	1	21,232	6	75,441	2,802	181,073
合計	156	610,814	173	735,313	2,472	301,109	3,402	1,012,697

※件数:複数年契約を含む ※金額:令和3年度受入額 ※医学研究科の受託事業費に司法解剖・病理組織検査料等を含む。
※医学部附属病院の受託研究費に治験等を含む。 ※医学部附属病院の受託事業費に受託実習生等を含む。

外部資金受入状況 (年度別)

区分	共同研究費		受託研究費		受託事業費		寄附金	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
2017(平成29)年度	88	248,493	197	956,112	2,203	317,157	3,561	1,038,872
2018(平成30)年度	140	381,441	175	885,330	2,232	295,091	1,926	903,951
2019(令和元)年度	146	698,966	170	728,486	2,383	292,665	1,516	1,044,384
2020(令和2)年度	138	321,759	148	793,575	2,470	242,946	2,892	1,015,250
2021(令和3)年度	156	610,814	173	735,313	2,472	301,109	3,402	1,012,697



文京町地区



- 01 旧制弘前高等学校外国人教師館
(弘大力フェ)**
- 02 案内所(守衛所)**
- 03 事務局**
- 04 保健管理センター**
- 05 創立50周年記念会館**
- 06 総合教育棟**
- 07 人文社会科学部**
- 08 附属図書館**
- 09 大学会館**
- 10 学生食堂**
- 11 教育学部**
- 12 資料館**
- 13 附属教育実践総合センター**
- 14 合宿所**
- 15 第一体育館**



創立50周年記念会館

- 16 弓道場**
- 17 附属地震火山観測所**
- 18 情報連携統括本部情報基盤センター**
- 19 附属遺伝子実験施設**
- 20 創立60周年記念会館コラボ弘大**
- 21 コラボレーションセンター**
- 22 理工学部1号館**
- 23 理工学部2号館**
- 24 農学生命科学部**
- 25 温室**
- 26 第二体育館**
- 27 武道場**
- 28 サークル棟**

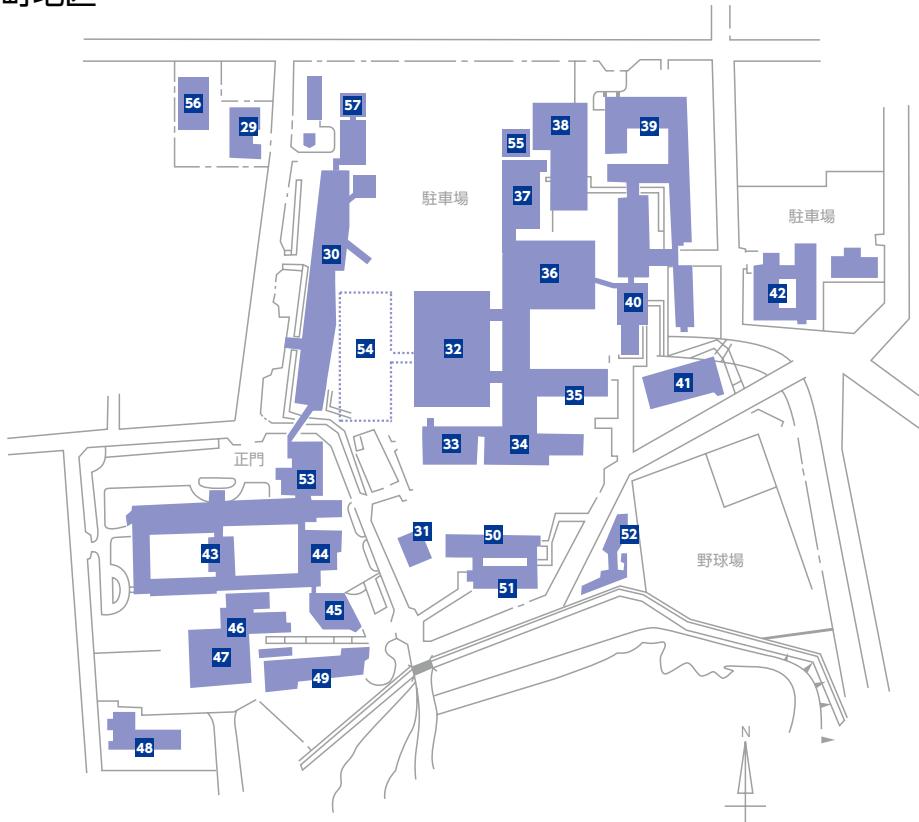


創立60周年記念モニュメント 金工作品「幸せのリング」
宮田亮平 元東京芸術大学長作
(創立50周年記念会館1Fロビー内)



創立60周年記念会館
コラボ弘大

本町地区



- | | |
|-----------------------------|---|
| 29 医学部コミュニケーションセンター | 44 附属図書館医学部分館 |
| 30 臨床研究棟 | 45 基礎講義棟 |
| 31 講義棟 | 46 アイソトープ総合実験室 |
| 32 外来診療棟 | 47 附属動物実験施設 |
| 33 エネルギーセンター | 48 本町地区共同利用施設
(附属高度先進医学研究センター) |
| 34 第一病棟 | |
| 35 第二病棟 | 49 附属脳神経血管病態研究施設 |
| 36 中央診療棟 | 50 学生支援センター1号棟 |
| 37 高度救命救急センター | 51 ひろだい保育園 |
| 38 立体駐車場 | 52 学生支援センター2号棟 |
| 39 保健学研究科・医学部心理支援科学科 | 53 健康未来イノベーションセンター |
| 40 被ばく医療総合研究所 | 54 新病棟 ※建設中 |
| 41 体育館 | 55 トリアージ棟(仮設) |
| 42 看護師宿舎 | 56 西別棟 |
| 43 医学研究科 | 57 多目的棟 |



医学部附属病院
第一病棟及び第二病棟



高度救命救急センター



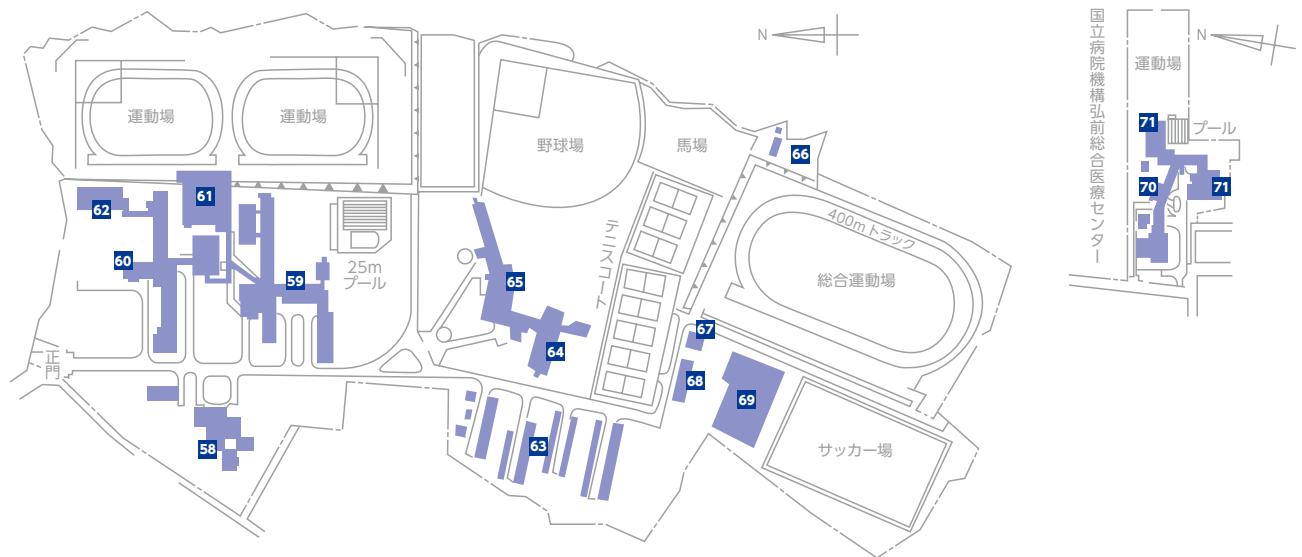
健康未来イノベーションセンター



ひろだい保育園

学園町地区

富野町地区



58 附属幼稚園

59 附属小学校

60 附属中学校

61 附属小・中体育館

62 武道場

63 職員宿舎

64 北鷹寮(男子)

65 朋寮(女子)

66 馬房

67 合宿所

68 体育管理施設

69 屋内プール

70 附属特別支援学校

71 屋内体育馆



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



附属特別支援学校

藤崎農場



72 管理棟

73 加工舎

74 リンゴ低温倉庫

75 果樹根実験施設

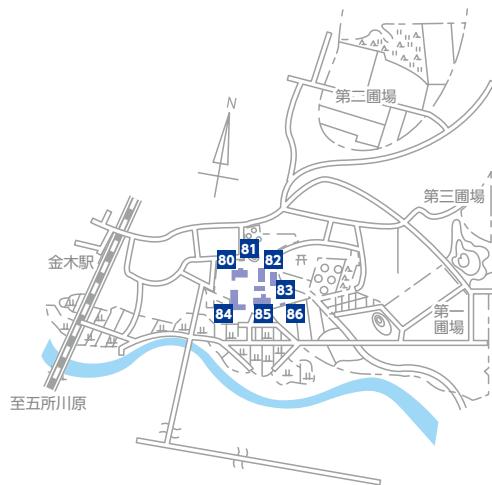
76 小農具舎

77 大農具舎

78 収納調整舎

79 収納舎

金木農場



80 管理棟／宿泊施設

81 宿泊棟

82 多目的舎

83 アップルビーフ
特別生産牛舎

84 農機具舎

85 繁殖舎

86 肥育舎



管理棟

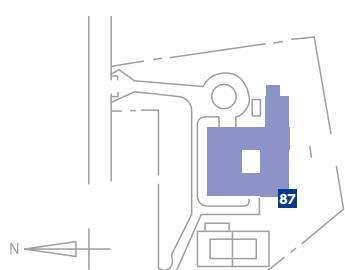


ピーターパンチューリップ園



繁殖舎

緑ヶ丘地区



87 北溟寮(男子)

桔梗野地区



88 国際交流会館

89 職員宿舎



北溟寮(男子)



国際交流会館

土地・建物

2022(令和4)年5月1日 現在

区分		土地(m)	建物延面積(m)
文京町地区	人文社会科学部		6,089
	教育学部		16,929
	教育学部附属教育実践総合センター		541
	理工学研究科		22,663
	理工学研究科附属地震火山観測所		268
	農学生命科学部		13,215
	コラボレーションセンター		4,582
	農学生命科学部附属遺伝子実験施設		1,527
	総合教育棟		11,895
	附属図書館		6,131
	保健管理センター		477
	情報連携統括本部情報基盤センター		2,351
	コラボ弘大		3,758
	創立50周年記念会館		1,515
	大学会館		4,952
	体育施設	第一・第二体育館・多目的広場	3,394
	課外活動施設	弓道場・武道場、サークル棟 等	2,494
	本部管理施設等	事務局、外国人教師館 他	4,288
小計		135,267	107,069
学園町地区	教育学部附属幼稚園		1,065
	教育学部附属小学校		8,288
	教育学部附属中学校		8,209
	学生寄宿舎		6,372
	総合運動施設		3,077
	職員宿舎		6,416
小計		176,403	33,427
本町地区	医学研究科・保健学研究科・医学部心理支援科学科		58,417
	医学部附属病院		72,770
	看護師宿舎(研修医宿舎)		2,350
	女性医師支援施設		250
	医学部コミュニケーションセンター		894
	体育施設	野球場、体育館	1,457
	小計	95,226	136,138
富野町地区	教育学部附属特別支援学校	10,605	3,874
	教育学部附属特別支援学校実習施設	1,602	33
	小計	12,207	3,907
桔梗野地区	国際交流会館	3,143	2,030
	職員宿舎	5,147	2,963
	小計	8,290	4,993
緑ヶ丘地区	学生寄宿舎	9,631	3,279
紙漉町地区	文京荘	1,617	581
その他	農学生命科学部附属生物共生教育研究センター	藤崎農場 金木農場	142,607 358,798
	農学生命科学部	深浦実験所 農業実習地	798 10,812
	深浦ハウス		6,632
	地域戦略研究所	新エネルギー研究部門 食料科学研究部門	(1,604) (524)
	農学生命科学部附属白神自然環境研究センター白神自然観察園		(2,454) (324)
	理工学研究科附属地震火山観測所	岩崎・三厩・泊 地震観測点 梵珠山・濱横沢・百沢 火山観測点	100 45
	納骨堂・埋骨堂		48
	その他		3,676
	合計	1,145,134	300,627

体育施設

2022(令和4)年5月1日 現在

区分	所在地	面積	備考
屋内施設	第一体育館	文京町	1,828
	第二体育館	文京町	1,566
	体育館	本町	1,457
	弓道場	文京町	140
	武道場	文京町	756
	水泳プール	学園町	2,398
計		8,145	
屋外施設	多目的広場	文京町	12,144
	野球場	南塘町	9,981
	総合運動場	学園町	61,484
	計	83,609	
合計		91,754	

学生寮

2022(令和4)年5月1日 現在

寮名	面積	設置年度	室数	入居者数
北溟寮 (男子・留学生混住型)	3,279	昭和40	106	101
朋寮(女子)	3,498	昭和42	117	115
北鷹寮(男子)	2,874	昭和43	100	99
合計	9,651		323	315

国際交流会館

2022(令和4)年5月1日 現在

区分	面積	施設の概要
A棟	982	Aタイプ:31、 共用部分:事務室、ラウンジ、 ランドリー室
B棟	1,048	Bタイプ:11、Cタイプ:7
合計	2,030	

サテライト

弘前大学では、産学官の研究協力、生涯学習、広報活動、その他教育研究に関する事業を行い、弘前大学と地域社会の密接な連携を図ることを目的としてサテライトを設置しています。



八戸サテライト

弘前大学では平成14年6月1日、分室としての機能を持つ「弘前大学八戸サテライト」を開設し、これまで結びつきの弱かった八戸地域での活動拠点に築きました。弘前大学八戸サテライトは、八戸地域において、産学官の研究協力、生涯学習、広報活動、その他教育研究に関する事業を行い、弘前大学と地域社会の密接な連携を図ることを目的としています。地域との連携を更に推進するため、平成19年11月1日、八戸商工会館1階に移設しました。

住 所	〒031-8511 青森県八戸市堀端町2-3 八戸商工会館 1階
TEL	0178-43-1600
HP	https://home.hirosaki-u.ac.jp/hachinohe-satellite/



東京事務所

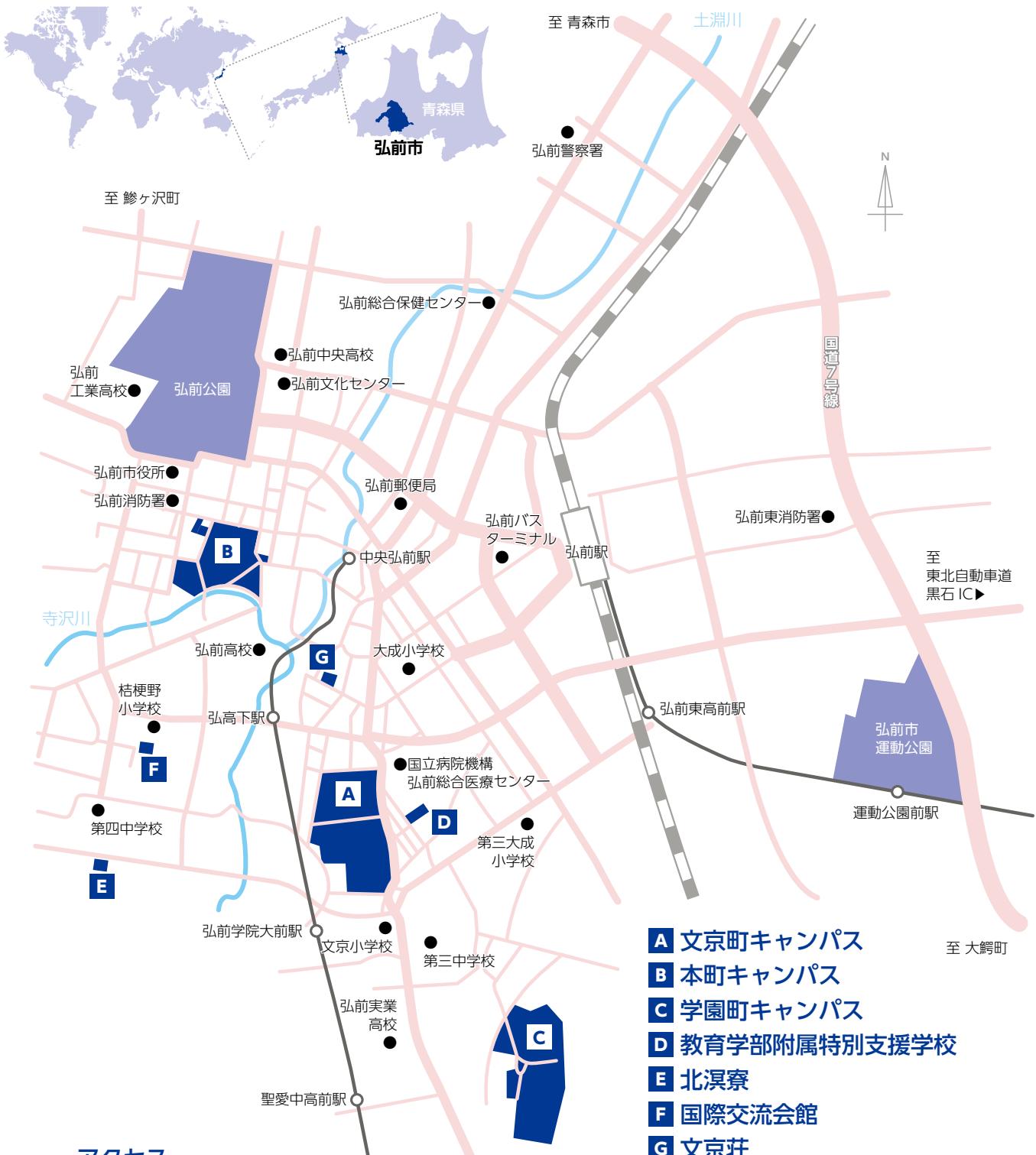
弘前大学東京事務所は、首都圏における産学官連携を強化するとともに、本学の研究シーズを広く公開し、共同研究、技術移転等による外部資金の導入を促進することを目的としています。主な事業内容は、次のとおりです。

1. 産学官連携事業（科学技術相談、共同研究及び技術移転等）の実施
2. 首都圏における企業等のニーズと弘前大学のシーズのマッチング
3. 研究シーズ発表会、パネル展示会及び講演会等の実施
4. 広報活動（入学試験、就職に関する情報提供及び大学紹介資料の閲覧・配布等）
5. その他東京事務所の設置目的を達成するための事業

住 所	〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町7階703
TEL	03-3519-5060
HP	https://jtokyo.hirosaki-u.ac.jp/

部局等所在地

	部局等名	住 所	TEL
文京町キャンパス	事務局	〒036-8560 弘前市文京町1	0172-36-2111 (大代表)
	人文社会科学部		
	教育学部		
	教育学部附属教育実践総合センター		
	教育学部附属教員養成学研究開発センター		
	教育学部附属教員免許状更新講習支援室		
	地域社会研究科		
	地域共創科学研究科		
	保健管理センター		
	男女共同参画推進室		
	出版会		
	資料館		
	国際連携本部		
	地域創生本部		
	情報連携統括本部		
	附属図書館		
	創立50周年記念会館		
	旧制弘前高等学校外国人教師館		
	理工学研究科	〒036-8561 弘前市文京町3	0172-36-2111 (大代表)
	理工学研究科附属地震火山観測所		
	理工学研究科寒地気象実験室		
	農学生命科学部	〒036-8561 弘前市文京町3	0172-36-2111 (大代表)
	農学生命科学部附属遺伝子実験施設		
	農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場	〒038-3802 南津軽郡藤崎町藤崎下袋7-1	0172-75-3026
	農学生命科学部附属生物共生教育研究センター金木農場	〒037-0202 五所川原市金木町芦野84	0173-53-2029
	農学生命科学部附属白神自然環境研究センター白神自然観察園	〒036-1424 中津軽郡西目屋村川原平大川添101-1	0172-36-2111 (大代表)
	農学生命科学部附属深浦実験所	〒038-2300 西津軽郡深浦町吾妻沢173	0172-36-2111 (大代表)
	情報連携統括本部情報基盤センター	〒036-8561 弘前市文京町3	0172-36-2111 (大代表)
	研究・イノベーション推進機構共用機器基盤センター		
附属学校園	教育学部附属幼稚園	〒036-8152 弘前市学園町1-1	0172-32-6815
	教育学部附属小学校		0172-32-7202
	教育学部附属中学校		0172-32-7201
	教育学部附属特別支援学校	〒036-8174 弘前市富野町1-76	0172-36-5011
学寮・宿泊施設	北鷹寮(男子寮)	〒036-8152 弘前市学園町1-1	0172-32-2910
	朋寮(女子寮)		
	北溟寮(男子・留学生混住型)	〒036-8253 弘前市緑ヶ丘1-8-4	0172-32-3364
	文京荘(非常勤講師宿泊施設)	〒036-8221 弘前市紙漉町3-8	0172-32-0715
	国際交流会館	〒036-8227 弘前市桔梗野2-20-17	0172-37-6854
	深浦ハウス	〒038-2300 西津軽郡深浦町深浦岡崎338-229	0172-36-2111(大代表)
	医学研究科	〒036-8562 弘前市在府町5	0172-33-5111(大代表)
本町キャンパス	医学研究科附属脳神経血管病態研究施設		
	医学研究科附属高度先進医学研究センター		
	医学研究科附属動物実験施設		
	医学研究科附属子どものこころの発達研究センター		
	医学研究科附属健康未来イノベーションセンター		
	アイソトープ総合実験室		
	附属図書館医学部分館		
	医学部附属病院	〒036-8563 弘前市本町53	
	医学部附属病院看護師宿舎(研修医宿舎)	〒036-8311 弘前市相良町26	
	医学部コミュニケーションセンター	〒036-8203 弘前市本町40-1	0172-39-5240
研究所	保健学研究科・医学部心理支援科学科	〒036-8564 弘前市本町66-1	0172-33-5111(大代表)
	被ばく医療総合研究所	〒036-8564 弘前市本町66-1	0172-39-5401
	地域戦略研究所(新エネルギー研究部門)	〒036-8561 弘前市文京町3	0172-39-3734
	地域戦略研究所(食料科学研究部門・企画戦略部門)	〒038-0012 青森市柳川2-1-1	017-763-5028



アクセス

東京	東北新幹線(約3時間10分)	新青森駅	JR特急(約30分)	土手町循環 100円バス(約15分)	大学病院前	本町 キャンパス
	飛行機(約1時間20分)	青森空港	弘南バス(約55分)	*6番 駒越線(約15分)		
札幌	JR特急(約3時間30分) 新函館北斗駅	北海道新幹線(約1時間10分)	新青森駅	JR特急(約30分)	*8番 金属団地・桜ヶ丘線(約15分)	本町
	飛行機(約45分)	青森空港	弘南バス(約55分)			
盛岡	高速バス ヨーデル号(約2時間15分)			小栗山・狼森線(約15分)	弘前大学前または 弘大農学生命 科学部前	文京町 キャンパス
仙台	高速バス キャッスル号(約4時間20分)			*3番 学園町線(約15分)	学園町	学園町キャンパス
				*3番 学園町線(約25分)		

*中央口のりば



編集・発行

弘前大学総務部広報・情報戦略課

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

URL <https://www.hirosaki-u.ac.jp/>

表紙デザイン 石川善朗氏(元弘前大学教育学部教授)監修、清藤慎一郎氏(弘前大学大学院教育学研究科修了)制作



弘前大学
ホームページ



ウェブマガジン
「HIROMAGA」

